

# 準備しよう! Prius

**HITACHI**  
Inspire the Next

パソコンを使えるようにしよう

1

いろいろな使い方をするために

2

再セットアップ

3

技術情報

4

## Prius One

マニュアルをよく読み、保管してください。

- 製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
- このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

# はじめに

## マニュアルを確かめよう

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

次の内容と各マニュアルの内容をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

### マニュアルの構成について

このパソコンには、使い始める準備から使いこなすまでの手引き、マニュアルが付いています。マニュアルには、本書のような紙マニュアルと、画面で見る電子マニュアルがあります。どちらにも役に立つ便利な情報が書かれています。大いに活用して快適なパソコンライフをお楽しみください。

#### 紙マニュアル

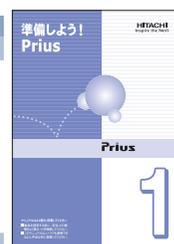
はじめにお読みください

- 『必ずお読みください』



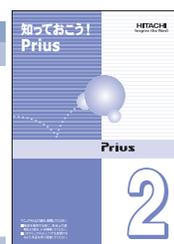
パソコンを使えるようにしよう！

- 『準備しよう！ Prius』



さっそく使ってみよう！

- 『知っておこう！ Prius』  
同じ内容が  
電子マニュアルにもあります



動画機能を使ってみよう！

- 『プリウスナビを楽しもう！』  
同じ内容が  
電子マニュアルにもあります



## 電子マニュアル

マニュアルの情報は電子マニュアルにあり、必要な情報を画面ですばやく探すことができます。



はじめてパソコンに触るなら



インターネット・メールを始めるなら



アプリケーションを楽しむなら



もっとパソコンを使うなら・困ってしまったら



## 電子マニュアルを開こう

電子マニュアルは、このパソコンのマニュアルを画面で読めるようにしたものです。電子マニュアルを開いてみましょう。

詳しい電子マニュアルの使い方は、『マニュアルスタートガイド』をご参照ください。



画面左上(デスクトップ)のアイコンをダブルクリックして



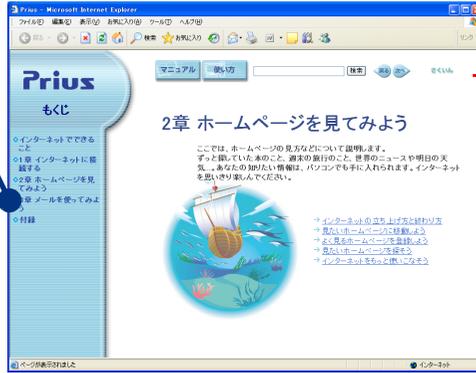
電子マニュアル



電子マニュアル 活用百科

- 1 を調べたい項目の上に
- 2 見たい項目をクリック

1 調べたい項目を  
をクリック



電子マニュアル画面

2 電子マニュアルを  
読む

他のことを調べるなら

1 を **使い方** の上に



2 見たい項目  
をクリック

知りたいことを入力して調べるなら

1 質問を入力

2 **検索** をクリック



3 **検索** を  
クリック



4 検索結果の  
項目を  
クリック

5 電子マニュアルを読む

# お使いになる前に

## マニュアルの表記について

 <b>重要</b>	重要事項や使用上の制限事項を示します。
 <b>ヒント</b>	パソコンを活用するためのヒントやアドバイス、パソコンの用語を解説します。
 <b>参照</b> →	参照先を示します。
CD/DVD ドライブ	DVD スーパーマルチドライブなどの光学式ディスクドライブを表記します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。
Windows、Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition を表記します。
17 型モデル	17 型液晶ディスプレイが搭載されているモデルを表記します。
20 型モデル	20 型液晶ディスプレイが搭載されているモデルを表記します。

- ・ マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。モデルによっては異なる場合があります。説明の都合で画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
- ・ URL、お問い合わせ先、画面などは、マニュアル作成時のものです。

## 保証書について

- ・ 保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
- ・ 保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・ 保証期間終了後の修理については、Prius 集中修理センターにご相談ください。詳しくは、紙マニュアル『必ずお読みください』2 章の「パソコンのサポートについて」をご参照ください。

## 重要なお知らせ

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- ・ 本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・ 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# もくじ

## はじめに

### マニュアルを確かめよう

マニュアルの構成について	
電子マニュアルを開こう	2

### お使いになる前に.....4

マニュアルの表記について	4
保証書について	4
重要なお知らせ	4

### もくじ.....5

## 1章 パソコンを使えるようにしよう

### 同梱品を確かめよう .....8

同梱品チェックリストで確認しよう	8
保証書を確認しよう	9

### 接続しよう.....10

置き場所や姿勢について	10
接続しよう	11
ラスターパネルを取り付けよう (17型モデルの場合)	12
キーボードに電池を入れよう	13
マウスに電池を入れよう	13
リモコンに電池を入れよう	14
キーボード、マウス、リモコンの使用について	15
パソコンを接続しよう	16

### 電源を入れよう.....18

キーボードとマウスを登録しよう	19
使用許諾契約に同意しよう	22
電源を切ろう	26

### もう一度、電源を入れよう .....27

## 2章 いろいろな使い方をするために

インターネットを始めたい方は	30
モデムを使うには	30
テレビを見たい方は	31
ほかの周辺機器を使うときは	32
各部の名前を知っておこう	33
パソコン正面	33
パソコン側面	35
キーボード	37
CD/DVD ドライブのディスクの入れ方 / 取り出し方	40
FD の入れ方 / 取り出し方	41

## 3章 再セットアップ

再セットアップについて	44
作業の流れ	44
1 準備する	45
2 一括インストールを行う	47
3 アプリケーションをインストールする	54
4 電子マニュアルをインストールする	56

## 4章 技術情報

アプリケーション一覧	60
アプリケーションの制限や設定	62
パソコン仕様一覧	63
ドライブの仕様	66
DVD スーパーマルチドライブ (DVD ± R 2 層書き込み対応) の仕様	66
メモリーボードの仕様	69
有寿命部品一覧	70
オプション情報	71
さくいん	72

# 1

## 章

### 1章 パソコンを使えるようにしよう

この章では、パソコンを使えるようにするための準備について説明します。

- >> ・ 同梱品を確かめよう (P.8)
- >> ・ 接続しよう (P.10)
- >> ・ 電源を入れよう (P.18)
- >> ・ もう一度、電源を入れよう (P.27)

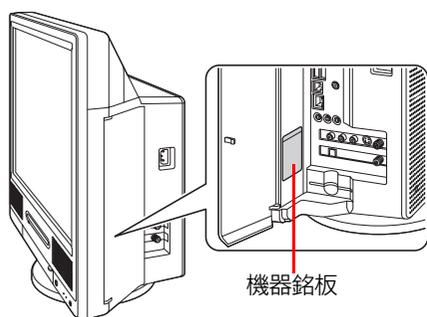
# 同梱品を確かめよう

箱を開けたら、箱の中に入っている同梱品がすべてそろっていることを『同梱品チェックリスト』で確認しましょう。万一不足があるときは、安心コールセンターにお問い合わせください。

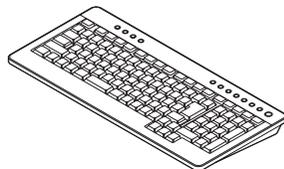
## 同梱品チェックリストで確認しよう

### ■ 17 型モデルの場合

#### ★パソコン



#### ★ワイヤレスキーボード

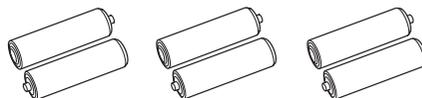


#### ★ワイヤレスマウス

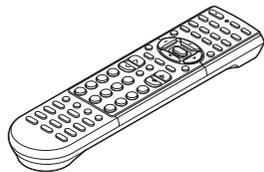


#### ★単3形アルカリ乾電池

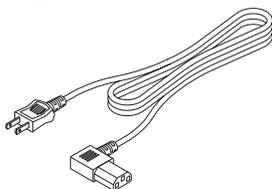
(6個、リモコン、キーボード、マウス用)



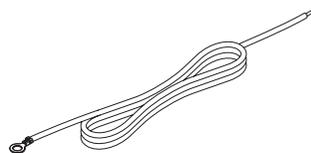
#### ★リモコン



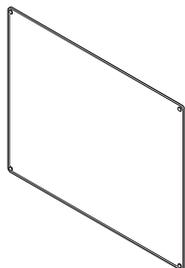
#### ★電源コード



#### ★アース線



#### ★ラスタパネル



#### ★B-CASカード

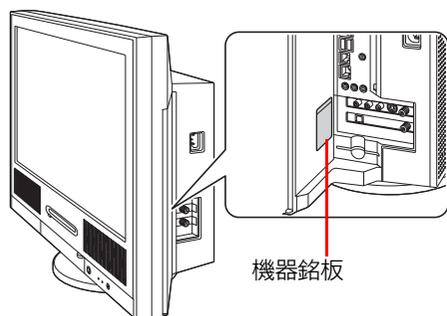


#### ★8 cmディスクアダプター

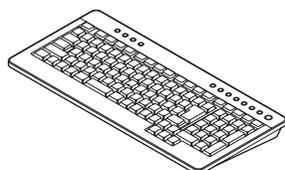


## ■ 20 型モデルの場合

### ★パソコン



### ★ワイヤレスキーボード



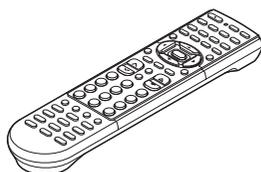
### ★ワイヤレスマウス



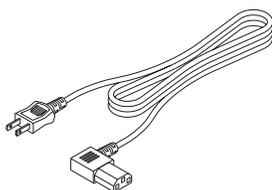
### ★単3形アルカリ乾電池 (6個、リモコン、キーボード、マウス用)



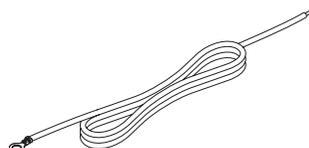
### ★リモコン



### ★電源コード



### ★アース線



### ★B-CAS カード



### ★8 cm CD アダプタ



**※ヒント** ● パソコンの形名を確認するには  
パソコン側面のコネクターカバー内にある機器銘板に、形名や製造番号が記載されています。

## 保証書を確認しよう

### 保証書

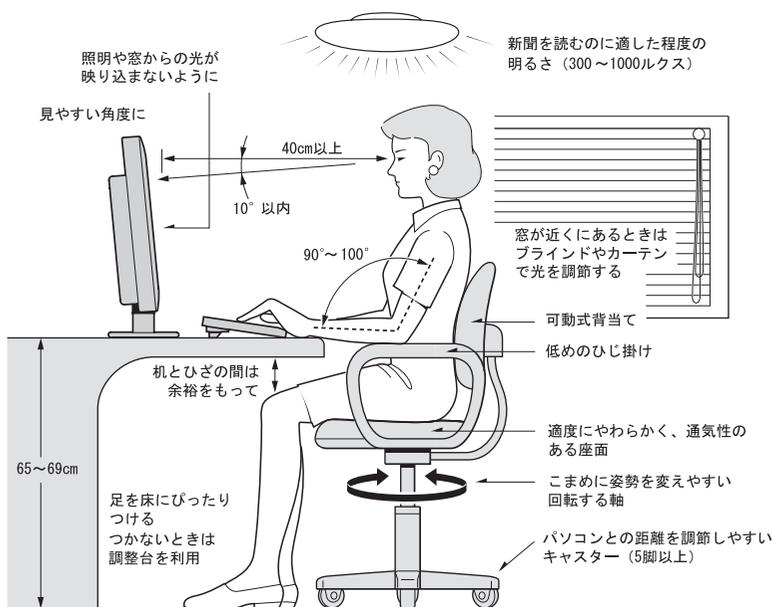
保証書は、パソコンの箱にはり付けてあります。大切に保管してください。パソコンの製造番号と保証書の番号が、同じであることをご確認ください。万一違う場合は、すぐに安心コールセンターにお問い合わせください。

# 接続しよう

パソコンの置き場所を決めてから、接続しましょう。

## 置き場所や姿勢について

パソコンを使う場所によっては、パソコンに思わぬトラブルを起こす可能性があります。パソコンを正しく使うために、パソコンを使うときに適した場所と姿勢について知っておきましょう。



参照：日本人間工学会 ノートパソコン利用の人間工学ガイドライン (1998年 労働科学研究所発行)

- ・ パソコンのディスプレイは、体の正面に設置し、見やすい角度に調整する。
- ・ ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明を適度に調節し、ディスプレイの反射を抑える。
- ・ 明るさコントラストなどを見やすいように調整する。
- ・ キーボードやマウスを使うときは、手首とひじは水平になるような位置を保つ。
- ・ パソコンの作業時間は、1日に最大6時間を目安とし、1時間ごとに10～15分の休息をとる。
- ・ キーボードは、裏側についている足で、使いやすい角度に調整する。
- ・ 周辺機器を接続しても余裕のある、十分な作業空間を確保する。
- ・ 不自然な姿勢を避け、ときどき姿勢を変える。

### 警告

- ・ 湿気やほこりの多い場所での使用について  
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気が多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。
- ・ ほこりの除去について  
パソコンの周囲はほこりを吸わないように、こまめに清掃してください。本体内部にほこりが溜まることによって、精密部分の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。

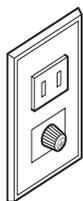
### 注意

- ・ 不安定な場所での使用について  
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

# 接続しよう

## ■ コンセントの位置を確認しよう

次のコンセント類が、パソコンに設置する場所にあるか、ご確認ください。コンセント類とパソコンを接続するケーブルが届く位置にパソコンの位置を決めてください。これは代表的な例です。



電源コンセント 1 個

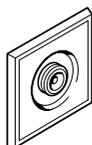
プリンターなど、周辺機器を接続する場合は、さらにその個数分必要です。

アース端子 1 個

本体の FG 端子とアース端子をアース線で接続するときに必要です。



アース端子の接続方法→「パソコンを接続しよう」(P.16)

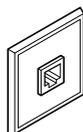


アンテナ端子 1 個

テレビを見るときに必要です。



テレビアンテナ端子の接続方法→紙マニュアル『プリウスナビを楽しもう!』



モジュラーコンセント 1 個

モデムを使ってインターネットに接続するときに必要です。

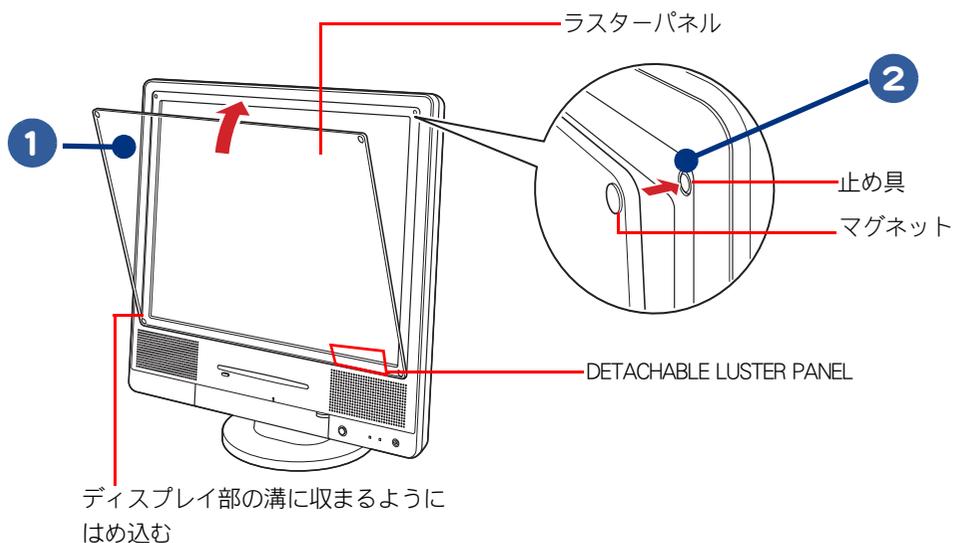


モジュラーケーブルの接続方法→「モデムを使うには」(P.30)

## ラスターパネルを取り付けよう（17型モデルの場合）

17型モデルにはラスターパネルが同梱されています。接続する前に、次の手順でラスターパネルを取り付けてください。

- 1 ラスターパネルの両面の保護シートをはがす
- 2 ラスターパネルの四隅にあるマグネットがディスプレイ部の四隅にある丸い止め具にぴったり吸着するように取り付ける

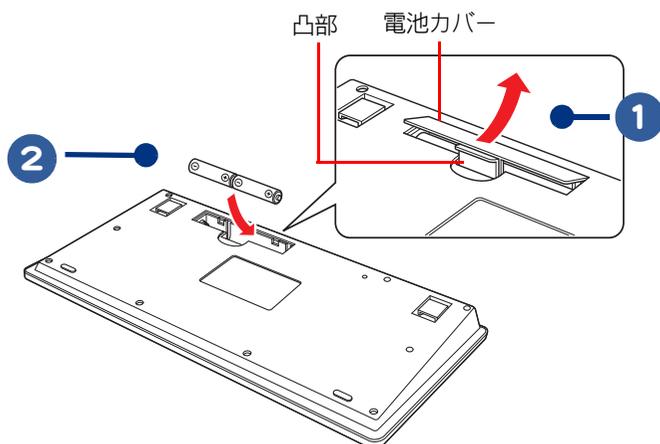


**\*ヒント** ● ラスターパネルを取り付ける場合は、「DETACHABLE LUSTER PANEL」の文字を右側にして取り付けてください。

## キーボードに電池を入れよう

同梱のキーボードに電池を入れましょう。

- 1 電池カバーの凸部を、指で押さえながら矢印方向にスライドさせて開ける
- 2 プラス (+)、マイナス (-) を確認して、単 3 形アルカリ乾電池を 2 本入れる



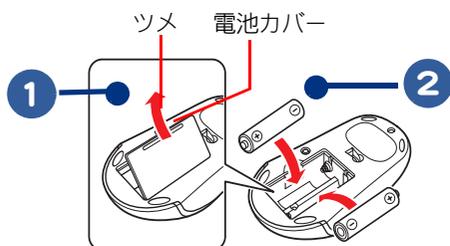
### 3 電池カバーを閉める

- 重要**
- 操作範囲は、パソコンの周囲約 6m 以内となります。周囲環境 (外来ノイズ) の影響によっては操作範囲が狭くなる場合があります。
  - キーボードの乾電池寿命は、通常約 6ヶ月 (アルカリ乾電池使用時) です。なお、使用頻度が高い場合、電池寿命は短くなります。
  - 長時間使用しない時は、乾電池を取り出してください。ワイヤレスキーボードを使用せずに放置していても乾電池が消費されます。

## マウスに電池を入れよう

同梱のマウスに電池を入れましょう。

- 1 電池カバーのツメを、指で押さえながら矢印方向に引き上げて開ける
- 2 プラス (+)、マイナス (-) を確認して、単 3 形アルカリ乾電池を 2 本入れる



### 3 電池カバーを閉める

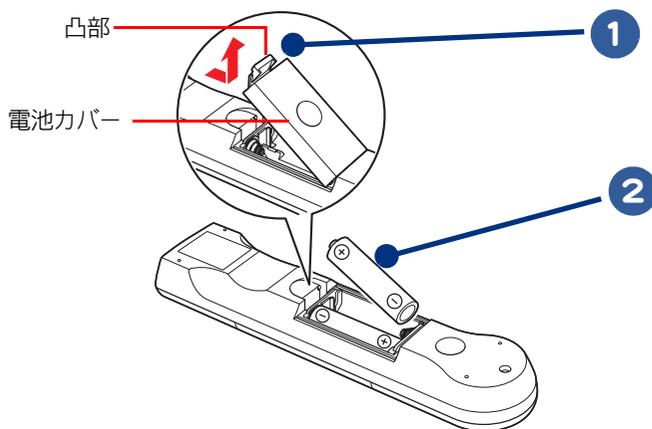
- 重要**
- 操作範囲は、パソコンの周囲約6m以内となります。周囲環境（外来ノイズ）の影響によっては操作範囲が狭くなる場合があります。
  - マウスの乾電池寿命は、アルカリ乾電池使用時で、連続最大55時間（約2ヶ月）です。なお、使用頻度が高い場合、電池寿命は短くなります。
  - 長時間使用しない時は、乾電池を取り出してください。ワイヤレスマウスを使用せずに放置していても乾電池が消費されます。

## リモコンに電池を入れよう

同梱のリモコンに電池を入れましょう。

### 1 電池カバーの凸部を、指で押さえながら矢印方向にスライドさせて開ける

### 2 プラス（+）、マイナス（-）を確認して、単3形アルカリ乾電池を2本入れる



### 3 電池カバーを閉める

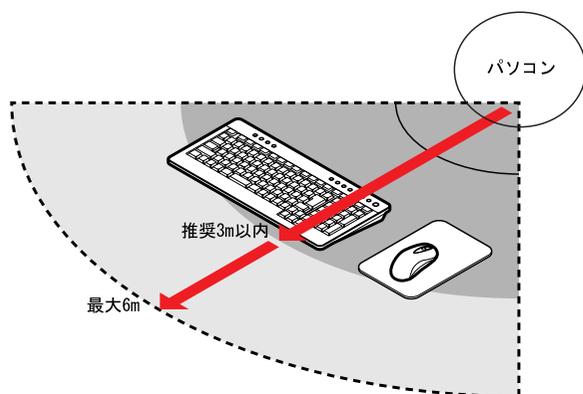
- 重要**
- リモコン送信部と本体液晶下の受信部の位置により、操作範囲が変わります。正面の場合は5m以内、左右15°ずれる場合は3m以内です。ただし、直射日光が当たるなど、周囲環境によっては、操作範囲が狭くなることがあります。
  - リモコンの乾電池寿命は、通常約2年（アルカリ乾電池使用時）です。なお、使用頻度が高い場合、電池寿命は短くなります。
  - 長時間使用しない時は、乾電池を取り出してください。リモコンを使用せずに放置していても乾電池が消費されます。

# キーボード、マウス、リモコンの使用について

キーボード、マウス、リモコンの使用に適した環境と電池の取り扱いについて知っておきましょう。

## ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスの操作範囲が適切か確認

操作範囲は、パソコンの周囲約6m 以内となります。周囲環境（周辺の電子機器など）の影響によっては操作範囲が狭くなる場合があります。



## 電波の影響を受ける環境でお使いになる場合

次のような環境でお使いになると、周囲からの電波の影響を受けて、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。

- ・ パソコン本体の近くにワイヤレス LAN アクセスポイントを置いている（パソコン本体とアクセスポイントは 1m 以上離して設置してください）
- ・ パソコン本体と、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの間に電気・電子機器や金属製のものを置いている
- ・ 周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している
- ・ 周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している危機がある（このパソコンを複数台でお使いの場合、無線局の近隣でお使いの場合、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合など）
- ・ パソコン本体を電子レンジの近くに置いている

このような場合には、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの ID を設定し直すと、動作する場合があります。

### ⚠ 警告

- ・ 電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ・ 電池を入れる場合は、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、表示どおり正しく入れてください。間違えると、電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・ 指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### ⚠ 注意

- ・ キーボード、マウス、リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外してください。取り外さないと、液漏れによりやけどをしたり、キーボード、マウス、リモコンが故障するおそれがあります。

### 🔴 重要

- アルカリ乾電池を使用してください。ニッカド電池など他の電池は使用しないでください。故障するおそれがあります。
- 電池を交換するときは 2 本とも新しい電池と交換してください。古い電池と新しい電池をあわせて使用しないでください。
- 同梱品の乾電池は動作確認用です。乾電池寿命は保証できません。

### 🌟 ヒント

- 動作可能領域で使っていても、うまく操作できないときは、電池残量がわずかになっている可能性があります。電池を交換してみてください。
- パソコンで設定を行うと、キーボードとマウスの電池残量を示すインジケータを表示させることができます。

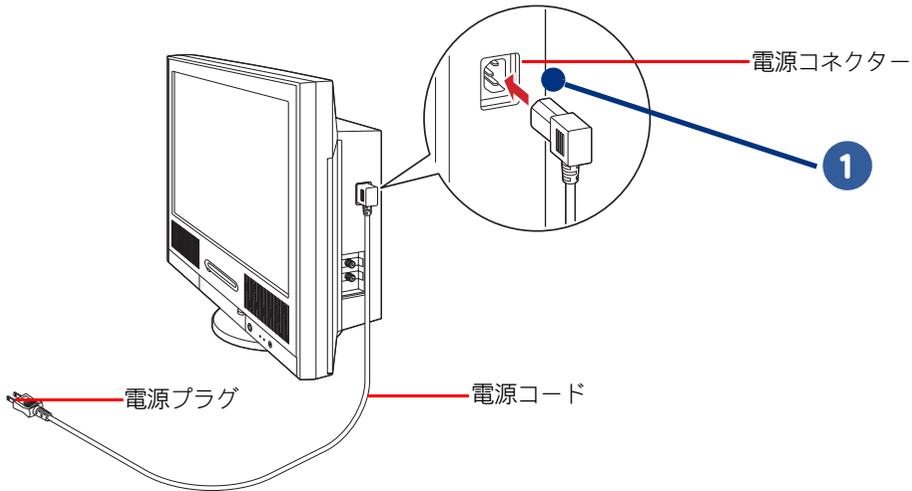


- ・リモコンの使い方について→紙マニュアル『プリウスナビを楽しもう!』
- ・電池残量の設定方法について→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「キーボード/マウスの電池容量の確認」
- ・マウスについて→電子マニュアル『パソコン応用』6章の「光学式マウスに関するご注意」

## パソコンを接続しよう

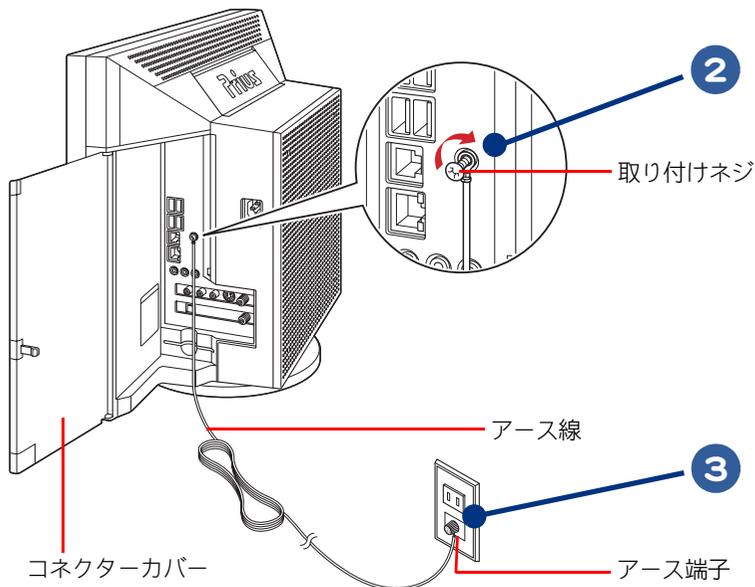
さっそく接続してみましょう。

### 1 電源コードをパソコンの電源コネクターへ差し込む



● 電源コードは、電源コネクターの根元までしっかり差し込んでください。

### 2 側面のコネクターカバーを開け、アース線を FG 端子に取り付けネジで接続する

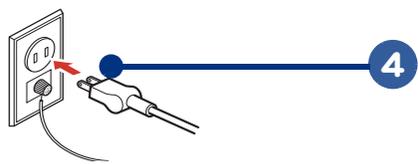




### 3 アース端子にアース線を接続する

- 重要** ● アース線をアース端子に接続するとき、アース線先端の被覆を外し、芯線をアース端子に接続してください。アース線先端の被覆を外さず、被覆の上からアース端子に接続すると、万一の漏電時に感電の原因になります。

### 4 パソコンの電源コードのプラグを、コンセントに差し込む



- 警告**
  - ・タコ足配線について  
同じコンセントに多数の機器を接続しないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。また、電力の使用量がオーバーとなり、ブレーカーが落ちてほかの機器にも影響を及ぼします。
  - ・アース線について  
感電防止のため、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと万一の漏電時に感電の原因となります。
    - ・接地作業は本体の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
    - ・アース線は添付したもの以外は使用しないでください。
    - ・アース線は確実に接地がとれる箇所に接続してください。ガス管などの危険な箇所には絶対に接続しないでください。

- 重要** ● 安全のためアース線が付いています。電源を入れる前に必ずアース線を接続してください。

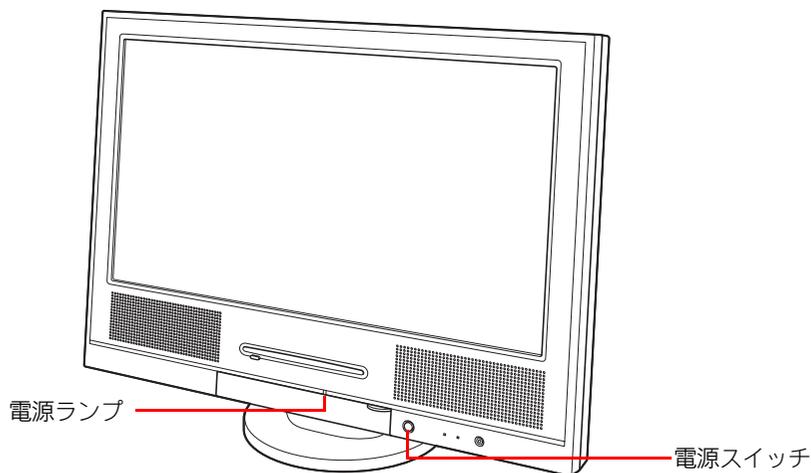
# 電源を入れよう

ここまででパソコンの電源を入れる準備ができました。  
次に、電源を入れて Windows を使えるようにするまでの操作を説明します。

**※ヒント** ● Windows を使えるようにするまでの操作を Windows のセットアップといいます。

## 1 パソコン前面の電源スイッチを押す

パソコンの電源ランプが緑色に変わり、しばらく待つと [Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。



**※ヒント** ● 電源ランプは、前面のコネクターカバーの上にあります。

**参照** → パソコンの電源ランプについて → 「各部の名前を知っておこう」(P.33)

## 2 [Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されたら、キーボード、マウスを接続する



**※ヒント** ● Windows 立ち上げ時は、ひんぱんに画面の切り替えが行われるため、画面が乱れることがあります。

# キーボードとマウスを登録しよう

キーボードとマウスの無線信号をパソコンで正しく認識できるように登録します。この操作を行わないと、電源スイッチを入れてもキーボードとマウスは使用できません。

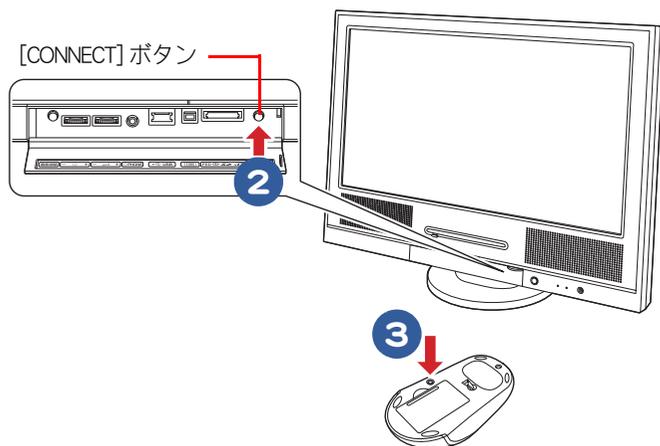
## 1 キーボードとマウスをパソコンの前面に近づける

**重要** ● パソコンとキーボードまたはマウスの距離は5cm以上離してお使いください。近すぎると、無線信号を正しく受信できない場合があります。

## 2 パソコン前面の [CONNECT] ボタンをカチッという感触がするまで押す

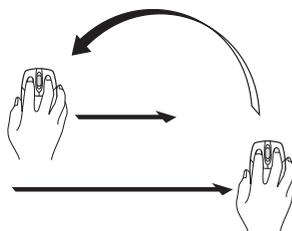
## 3 10秒以内にマウス底面の [CONNECT] ボタンを1秒程度1回押す

パソコンにマウスが登録され使えるようになります。



## 4 ワイヤレスマウスを操作する

画面上のが動くようになります。



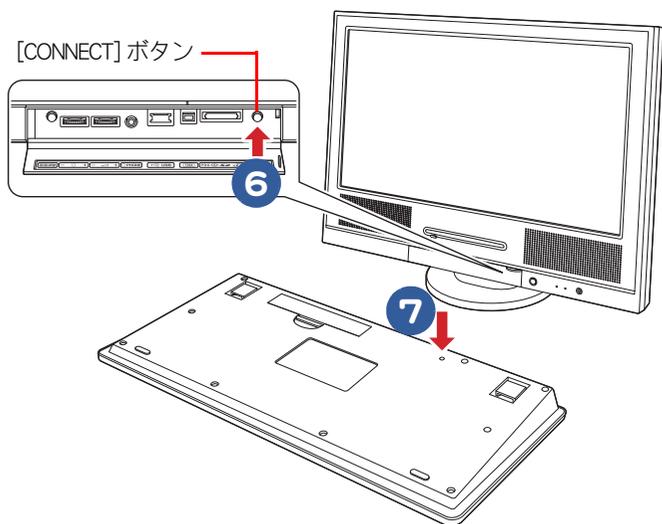
**重要** ● ここでは、マウスの動作確認をします。[次へ]を、クリックしないでください。

**ヒント** ● マウス底面の [CONNECT] ボタンは、3 秒以上押し続けしないでください。3 秒以上押し続けると、パソコンに正しく登録できない場合があります。  
● パソコン前面の [CONNECT] ボタンを押すと約 10 秒間マウスの登録ができます。マウスの [CONNECT] ボタンを押すと、通常 1～3 秒で使用できるようになりますが、設置環境に同周波数帯 (2.4GHz) の装置がある場合や外来ノイズが多い場合は、20 秒程度かかる場合があります。  
● マウスは電池寿命を延ばすため、10 分操作しないと節電モードに入ります。この状態では、マウスを動かしてもパソコン画面のマウスポインターは動きません。節電モードを解除するには、マウスの左ボタンまたは右ボタンのどちらかをクリックしてください。クリックしてもマウス底面の LED センサーが光らない場合は、電池の交換をお願いします。

**5** 画面上の  が動かない場合は、手順 2～4 でもう一度設定する。  
動く場合は、手順 6 に進む

**6** パソコン前面の [CONNECT] ボタンをカチッという感触がするまで押す

**7** 10 秒以内にキーボード底面の [CONNECT] ボタンを 1 秒程度 1 回押す  
パソコンにキーボードが登録され使えるようになります。



・心臓ペースメーカーを装着時の使用

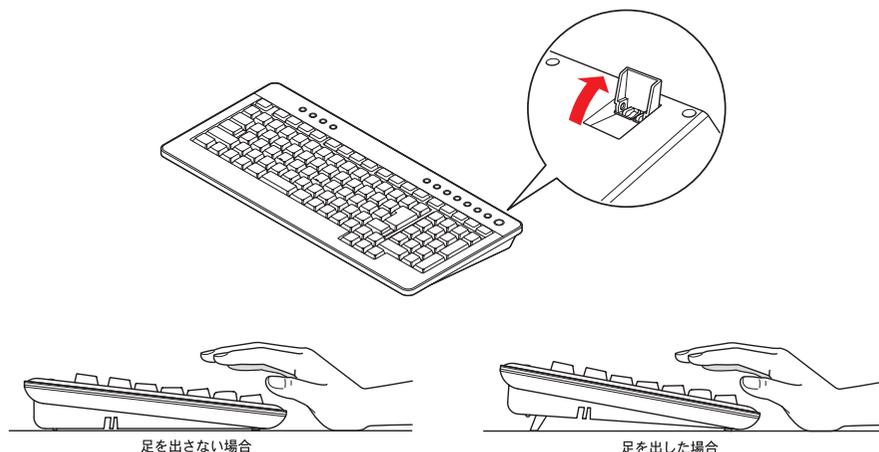
キーボードとマウスがワイヤレスで通信しています。電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカーの装着部分から 22cm 以上離してご使用ください。

**重要** ● キーボードの動作確認は、次項の「使用許諾契約に同意しよう」の [このコンピュータの名前] を入力するときを確認します。

**ヒント** ● キーボード底面の [CONNECT] ボタンは、3 秒以上押し続けしないでください。3 秒以上押し続けると、パソコンに正しく登録できない場合があります。  
● パソコン前面の [CONNECT] ボタンを押すと約 10 秒間キーボードの登録ができます。キーボードの [CONNECT] ボタンを押すと、通常 1～3 秒で使用できるようになりますが、設置環境に同周波数帯 (2.4GHz) の装置がある場合や外来ノイズが多い場合は、20 秒程度かかる場合があります。  
● キーボードとマウスの登録は、1 回行えば再セットアップや電池交換後も必要ありません。ただし、修理を行った場合は再度登録が必要です。

## キーボードの角度を変えよう

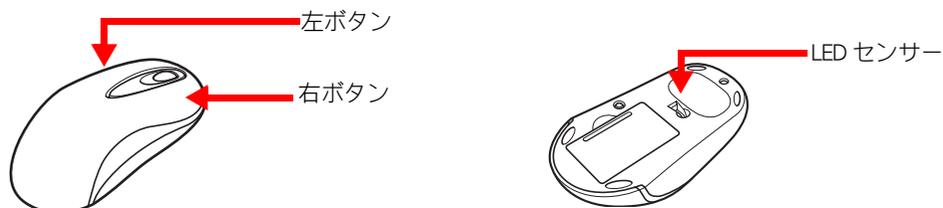
キーボードの裏側には、キーボードの角度を変えるための足が付いています。この足を引き出すと、キーボードを置いたときの傾きを大きくできます。



## マウスご使用上の注意

ワイヤレスマウスは電池寿命を延ばすため、10分操作しないと裏側のLEDセンサーを消灯して節電モードに入ります。この状態では、マウスを動かしてもパソコン画面上のマウスポインターは動きません。節電モードを解除するには、ワイヤレスマウスの左ボタンまたは右ボタンのどちらかをクリックしてください。

クリックしても、マウス底面のLEDセンサーが光らない場合は、電池交換してください。



## キーボードご使用上の注意

ワイヤレスキーボードは電池寿命を延ばすため、一つのキーを約1分以上押し続けた場合、キー入力を停止します。押し直すと、キー入力を再開できます。

# 使用許諾契約に同意しよう

はじめてパソコンの電源を入れたときは、Windows の使用許諾契約に同意して、Windows を使えるようになる必要があります。この操作は、はじめて電源を入れるときだけに必要です。次に電源を入れるときは必要ありません。

- 1 マウスを動かし、画面上に表示されている  を移動させて [次へ]  に重ね、マウスの左ボタンを 1 回押す



マウスのボタンを 1 回押すことを、「クリック」といいます。

## ※ ヒント

- 使用許諾契約  
ここでは、あらかじめパソコンに入っている Windows を使うための契約のことをいいます。
- 画面に表示されている  を、「マウスポインター」と呼びます。
- キーボードやマウスが動作しない場合は、パソコンに登録してください。

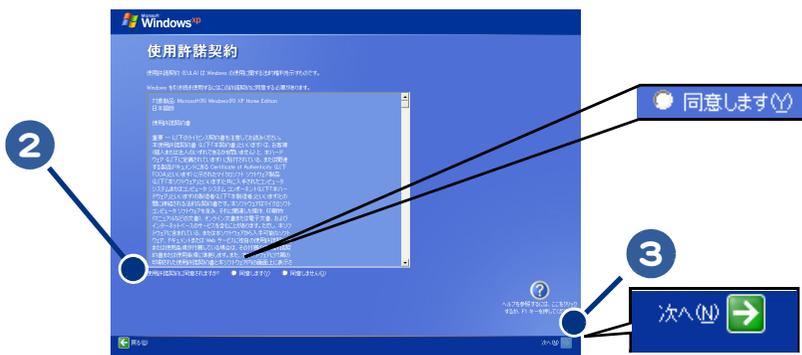
## 参照 →

キーボードやマウスの登録について → 「キーボードとマウスを登録しよう」(P.19)

- 2 [使用許諾契約] 画面で  を移動させて  同意します  に重ね、クリック

同意します  にチェックが付きます。

- 3  を移動させて [次へ]  に重ね、クリック



## ※ ヒント

- 操作を間違えたときは、[戻る]  に  を重ね、マウスの左ボタンをクリックします。一つ手前の画面に戻ります。

## 重要

- 使用許諾契約は必ずお読みください。

## 4 [コンピュータを保護してください]画面で、を移動させて

 ● 自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます(H)  
(推奨) **に重ね、クリック**

[自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます]にチェックが付きます。

## 5 を移動させて[次へ]→に重ね、クリック



## 6 [コンピュータに名前を付けてください]画面で[このコンピュータの名前]を入力し、必要に応じて[コンピュータの説明] (省略可能) を入力する

これらの入力内容はあとで変更できるので、[このコンピュータの名前]はペットに名前を付けるようなつもりで入力します。[コンピュータの説明]は何も入力しないで次へ進みます。

日本語を入力するには	日本語を入力する方法は2つあります。使いやすい方法を選んで入力してください。
ローマ字入力	キーの左上のアルファベットを使って、ローマ字読みでひらがなを入力します。 H I I I A C H I I と入力すると自動的に「ひたち」となります。
かな入力	かな入力したい場合は、キーボードの  (Alt) キーを押しながら  (カタカナ ひらがな) キーを押すと、かな入力ができます。 キー右下、または右上のひらがなを使って入力します。   と入力すると「ひたち」となります。
漢字変換	入力したひらがなを漢字に変換するには、キーボードの  (スペース) キーを押します。違う漢字が表示されたときは、もう一度  (スペース) キーを押して、漢字の候補一覧の中から該当する漢字を選びます。 「ひたち」 -  → 常陸 -  → 日立  選んだ漢字を確定するには、  (Enter) キーを押します。 ひらがなのままでよいときは、  (スペース) キーを押さずに、そのまま  (Enter) キーを押して確定します。

**重要** ● キー入力ができない場合は、パソコンにキーボードが登録されていません。キーボードの無線信号をパソコンで正しく認識できるように登録してください。

**参照** → キーボードの登録について→「キーボードとマウスを登録しよう」(P.19)

## 7 マウスを移動させて[次へ]→に重ね、クリック

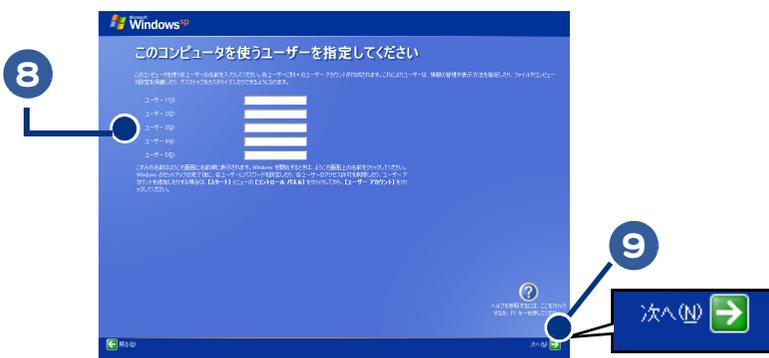


- ※ヒント**
- 入力できる文字には制限があります。画面の指示に従ってください。
  - [このコンピュータの名前]と[コンピュータの説明]はあとで変更できます。変更の方法については、電子マニュアル『パソコン入門』の「4章 コントロールパネルを使う」をご参照ください。

## 8 [このコンピュータを使うユーザーを指定してください]画面で[ユーザー 1]を入力する

入力内容はあとで変更できるので、[ユーザー 1]は自分のニックネームを付けるつもりで入力します。

## 9 マウスを移動させて[次へ]→に重ね、クリック



- ※ヒント**
- [ユーザー 1]に入力した名前は、あとで変更できます。変更の方法については、電子マニュアル『パソコン入門』4章の「ユーザ名などを変えよう」をご参照ください。
  - キーボードの入力操作に慣れていない方は、電子マニュアル『パソコン入門』の「5章 日本語を入力しよう」をご参照ください。

## 10 [設定が完了しました]画面でマウスを移動させて[完了]→に重ね、クリック

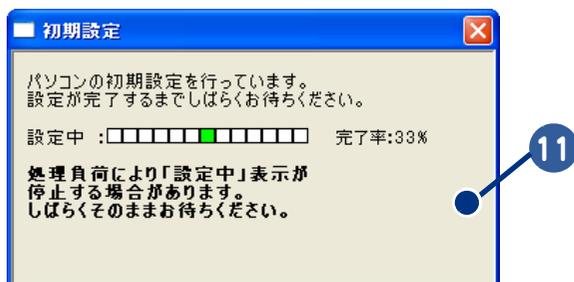


2回目以降は、電源を入れるとWindowsのデスクトップ画面が表示されます。[使用許諾契約]画面や[コンピュータに名前を付けてください]画面などは表示されません。

## 11 デスクトップ画面が表示され、モデルによっては[初期設定]画面が表示される。

パソコンを立ち上げなおすメッセージが表示されたら、[再起動]ボタンをクリック

はじめてパソコンの電源を入れ、使用許諾契約に同意したあとにアプリケーションのインストールなどが自動的に始まります。インストールには数分から十数分かかる場合があります。インストールが完了するまでは、パソコンの電源を切らないでください。



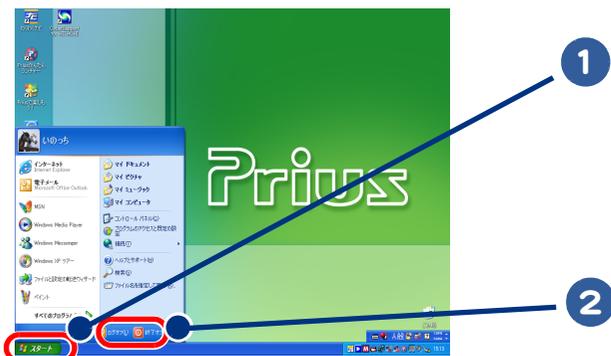
# 電源を切ろう

Windows の使用許諾契約などが終わったら、いったん電源を切ります。電源を切る操作はとても大切です。次に説明する方法で、電源を切ってください。

## 1 を重ね、クリック

スタートメニューが表示されます。

## 2 を重ね、クリック



## 3 [コンピュータの電源を切る] 画面で を重ね、クリック

画面が暗くなり、しばらくすると電源が切れ、パソコンの電源ランプがオレンジ色の点灯に変わります。



### ※ヒント

- 電源スイッチを 4 秒未満押し続けても、手順 1～3 の操作と同じように電源が正しく切れます。
- リモコンの電源ボタンやキーボードの [POWER] キーを押すと、手順 1～2 の操作と同じように、「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

### 重要

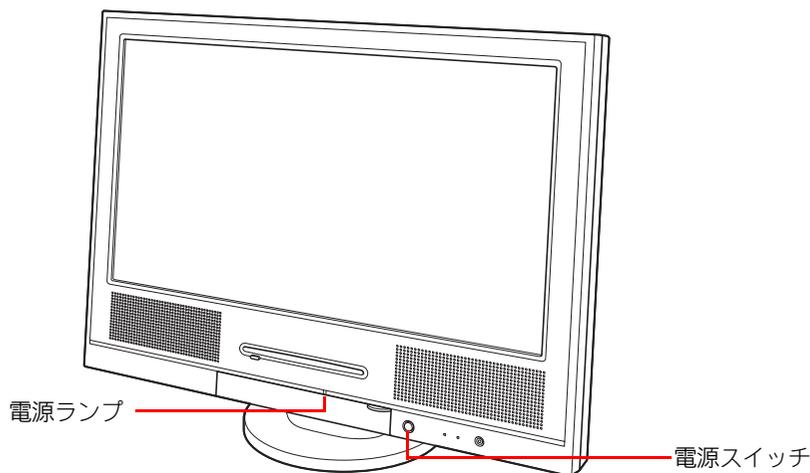
- 電源スイッチは、4 秒以上押し続けしないでください。Windows が強制終了されます。この場合、異常終了とみなされ、次回立ち上げ時にチェックプログラムが働くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がります。
- 一度電源を切り、再度電源を入れるときは、20 秒以上の間隔を教えてください。

# もう一度、電源を入れよう

もう一度電源を入れて、デスクトップ画面が表示されることを確認します。

## 1 パソコン前面の電源スイッチを押す

パソコンの電源ランプが緑色に変わり、デスクトップ画面が表示されます。



- ※ ヒント**
  - Windows 立ち上げ時は、ひんぱんに画面の切り替えが行われるため、画面が乱れることがあります。
  - 電源コードを接続した直後は、キーボードの [POWER] キーまたは、リモコンの [電源] ボタンから立ち上げられません。一度 Windows を立ち上げ、Windows を終了して電源を切ってからキーボードの [POWER] キーまたは、リモコンの [電源] ボタンから立ち上げることができます。
- 重要**
  - パソコン立ち上げ中にキーボードを連打したり、押し続けたりしないでください。エラーメッセージが表示される場合があります。



# 2

## 章

## 2章 いろいろな使い方をするために

ここでは、インターネットやテレビを使うための準備など、パソコンのいろいろな使い方や、パソコン各部の名前や働きについて説明しています。

- ≫ ・インターネットを始めたい方は (P.30)
- ≫ ・テレビを見たい方は (P.31)
- ≫ ・ほかの周辺機器を使うときは (P.32)
- ≫ ・各部の名前を知っておこう (P.33)

# インターネットを始めたい方は

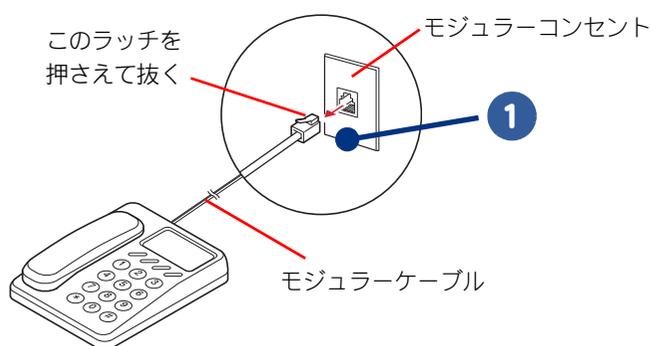
ここではモデムを使ってインターネットを始める方法を例に説明します。  
モデム以外の方法でインターネットを始める方は電子マニュアル『使おう！インターネット』をご参照ください。

## モデムを使うには

モデムを使ってインターネットを始めるためには、次のようにモジュラーケーブルを接続してください。

**警告** ・雷が鳴っているときは、パソコンの使用、アンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

### 1 お使いの電話機につながっているモジュラーケーブルを、モジュラーコンセントから抜く

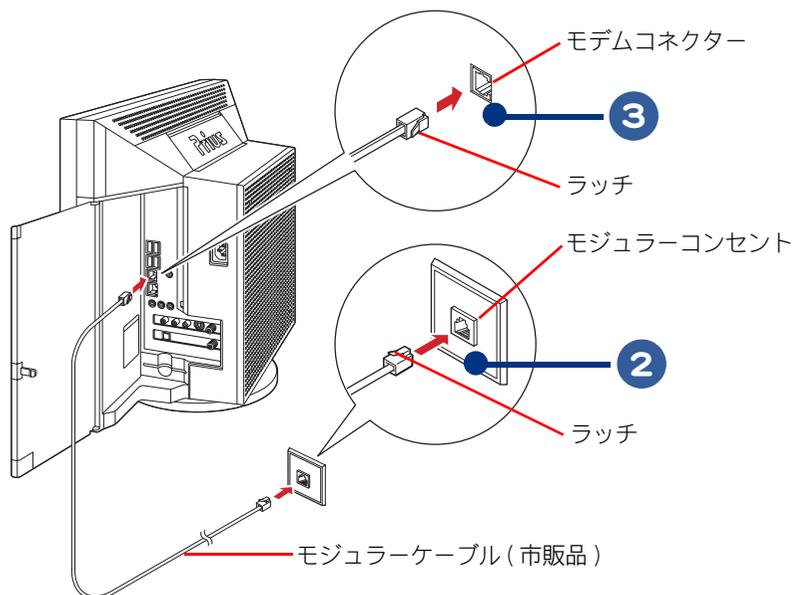


**重要** ●モジュラーケーブルには脱落防止のラッチが付いています。モジュラーケーブルを取り外すときは、ラッチを押さえながらモジュラーコンセントから引き抜いてください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、モジュラーケーブルが断線したり、モジュラーコンセントを破損するなどのおそれがあります。

### 2 モジュラーケーブル（市販品）の片側を、モジュラーコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込む

### 3 モジュラーケーブルの反対側を、パソコンのモデムコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込む

LAN コネクタに接続しないように、必ずマーク(凸)を確認して接続してください。



- ※ ヒント**
- 接続する前に、お使いになっている電話機の種類をご確認ください。お使いになっている電話機がホームテレフォンやビジネスフォン(内線)の場合、接続しても正常にインターネットを始めることができません。この場合は、NTTにご相談ください。
  - モジュラーコンセントの形状がイラストと異なる場合は、モジュラーコンセントを変更する必要があります。詳しくはNTTにご相談ください。

- ▲ 重要**
- モジュラーケーブルには脱落防止のラッチが付いています。モジュラーケーブルを取り外すときは、ラッチを押さえながらモジュラーコンセントから引き抜いてください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、モジュラーケーブルが断線したり、モジュラーコンセントを破損するなどのおそれがあります。

インターネットを始めるためには、ほかにも必要な手続きが残っています。インターネットの始め方については、電子マニュアル『使おう！インターネット』をご参照ください。

## テレビを見たい方は

このパソコンでテレビを見るには、アンテナケーブルとパソコンを接続します。詳しくは、紙マニュアル『プリウスナビを楽しもう！』をご参照ください。

# ほかの周辺機器を使うときは

周辺機器の接続は、電子マニュアル『パソコン応用』の「3章 パソコンを拡張する」をご参照ください。次のような接続や取り付けなどが行えます。必要に応じて、あらかじめ印刷してください。

電子マニュアルは、デスクトップ画面の [電子マニュアル] アイコンをダブルクリックします。

設定などの詳しい説明は、周辺機器のマニュアルをご参照ください。

- ・ USB 機器を接続する
- ・ IEEE1394 機器を接続する
- ・ LAN を接続する
- ・ ヘッドホン、マイクを接続する
- ・ 光デジタルオーディオ機器を接続する
- ・ SD カード / メモリースティック / xD- ピクチャーカードを使う
- ・ メモリーボードを取り付ける
- ・ その他の周辺機器を接続する

## 重要

- 周辺機器を接続する前に、Windows のセットアップを完了してください。周辺機器を接続してから Windows のセットアップを行うと、正しくセットアップできない場合があります。  
**参照** → Windows のセットアップについて → 「使用許諾契約に同意しよう」(P.22)
- 接続するときは、パソコンと周辺機器の電源をあらかじめ切ってください。

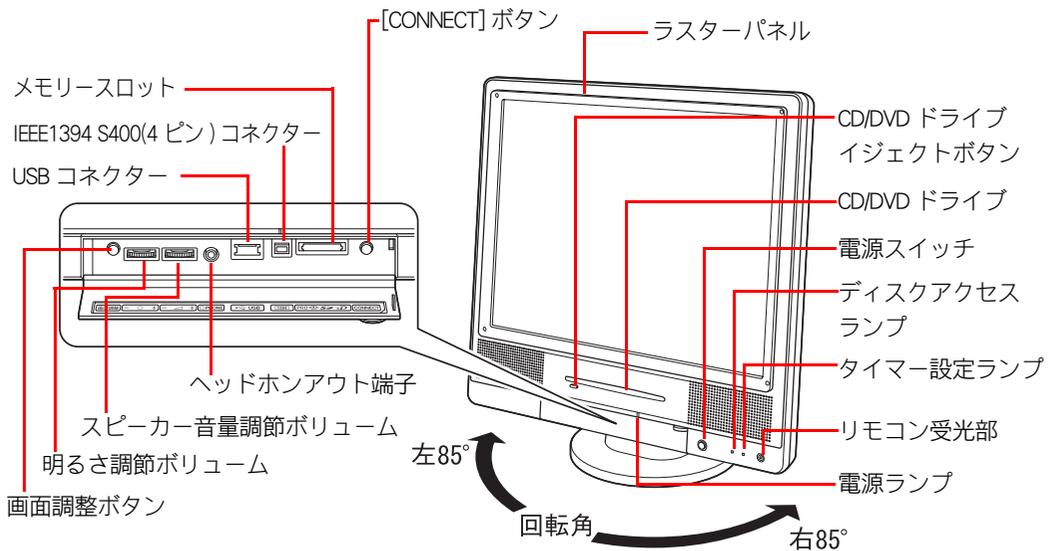
## ※ ヒント

- 次のプリンタードライバーはプレインストールされています。プリンターを接続すれば、使用できます。一括インストールしたときには、これらのドライバーはインストールされません。プリンターに付属のドライバーをインストールしてください。
  - ・ EPSON (PM-A750、PM-A890、PM-A950、PM-D600、PM-D800、PM-G730、PX-A650、PX-V630、PX-G920)
  - ・ Canon (PIXUS iP8600、PIXUS iP7500、PIXUS iP4200、PIXUS iP90)

# 各部の名前を知っておこう

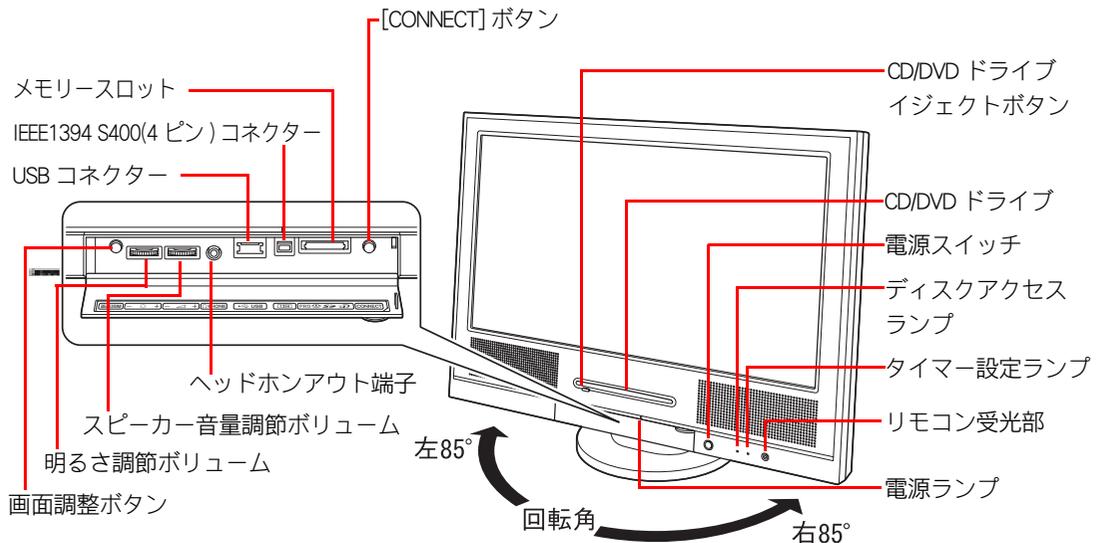
## パソコン正面

### 17 型モデルの場合



**※ヒント** ● ラスターパネルの保護シートをはがしてお使いください。

### 20 型モデルの場合



## ※ ヒント

- 画面調整ボタンを押すと、画面の状態を調整することができます。画面調整では、水平 / 垂直位置調整などを自動的にを行い、最適な状態に調整します。

## ▲ 重要

- SDメモリーカード / メモリースティック /xD-ピクチャーカードの同時使用はできません。
- メモリースティックのマジックゲートには対応していません。
- 「miniSDカード」「メモリースティック Duo」「メモリースティック PRO デュオ」をご使用のときは、専用のアダプターが必要となります。
- マルチメディアカード (MMC) には対応していません。

## 電源ランプ

ランプの発色でパソコンの動作状態を確認できます。

パソコンの状態	電源ランプの状態	備考
PowerOFF 時または、パソコン休止状態	オレンジ色に点灯	パソコンの電源が切れている (電源コードがコンセントに差し込まれている)
PowerON 時	緑色に点灯	パソコンが立ち上がっている
スタンバイ時	オレンジ色に点滅	節電機能が働いている
電源 OFF 時	消灯	電源コードが外されている

## タイマー設定ランプ

ランプの発色で録画予約の状態を確認できます。

パソコンの状態	タイマー設定ランプの状態	備考
録画予約中	赤色に点灯	録画予約が設定されている
予約録画中	赤色に点滅	予約した番組を録画している
録画予約なし	消灯	録画予約が設定されていない

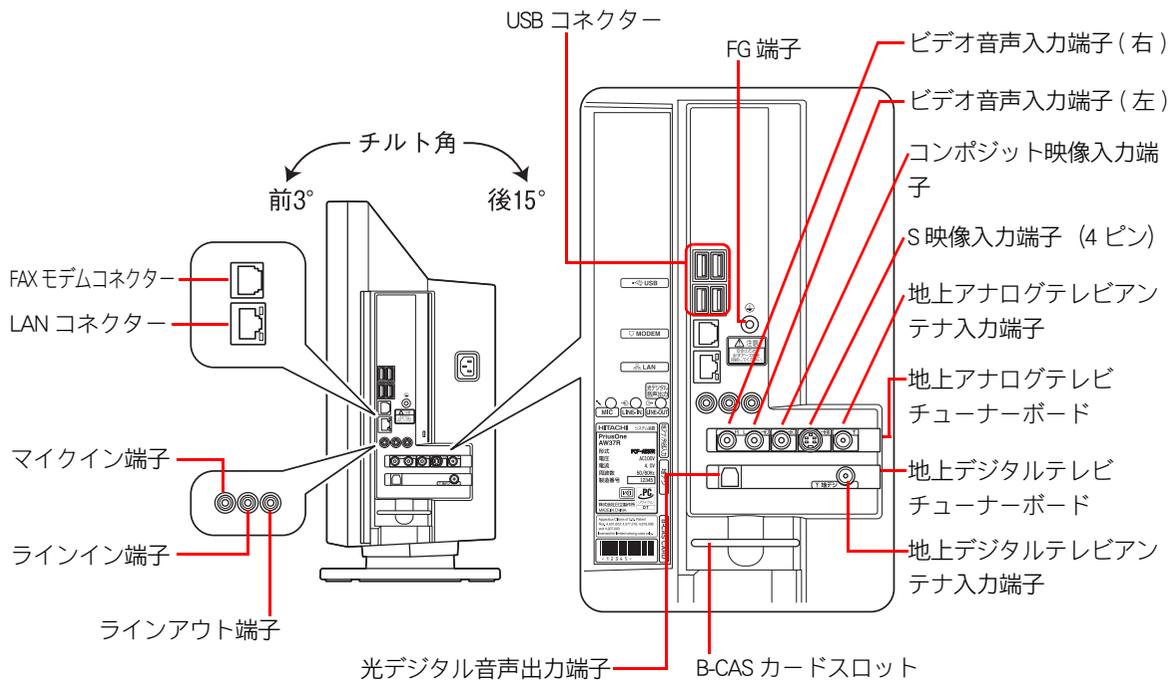
## ディスクアクセスランプ

ランプの発色で HDD や CD/DVD ドライブの動作状態を確認できます。

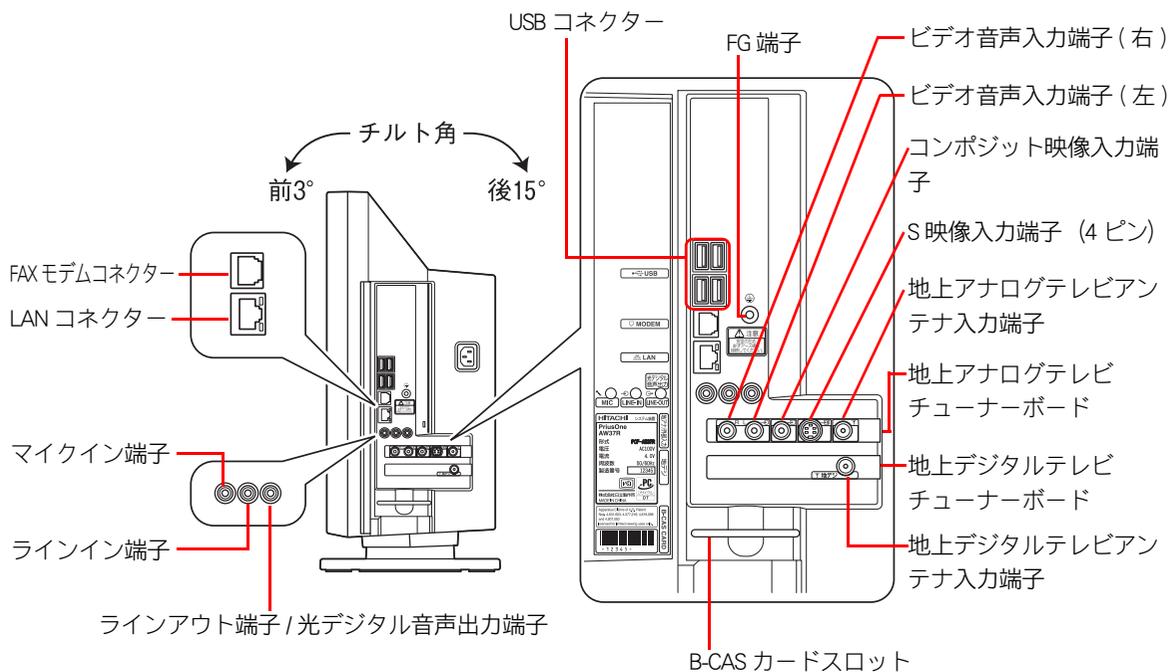
パソコンの状態	ディスクアクセスランプの状態	備考
HDD アクセス時	緑色に点滅	HDD がデータの読み書きをしている
CD/DVD ドライブ アクセス時		CD/DVD ドライブがデータの読み書きをしている

# パソコン側面

## 17 型モデルの場合



## 20 型モデルの場合



2

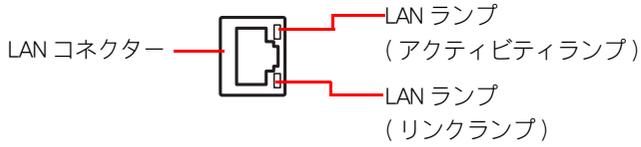
いろいろな使い方をするために

**※ヒント**

● 20 型モデルの地上デジタルチューナーボードには光デジタル音声出力端子はありません。ラインアウト端子と共用になります。

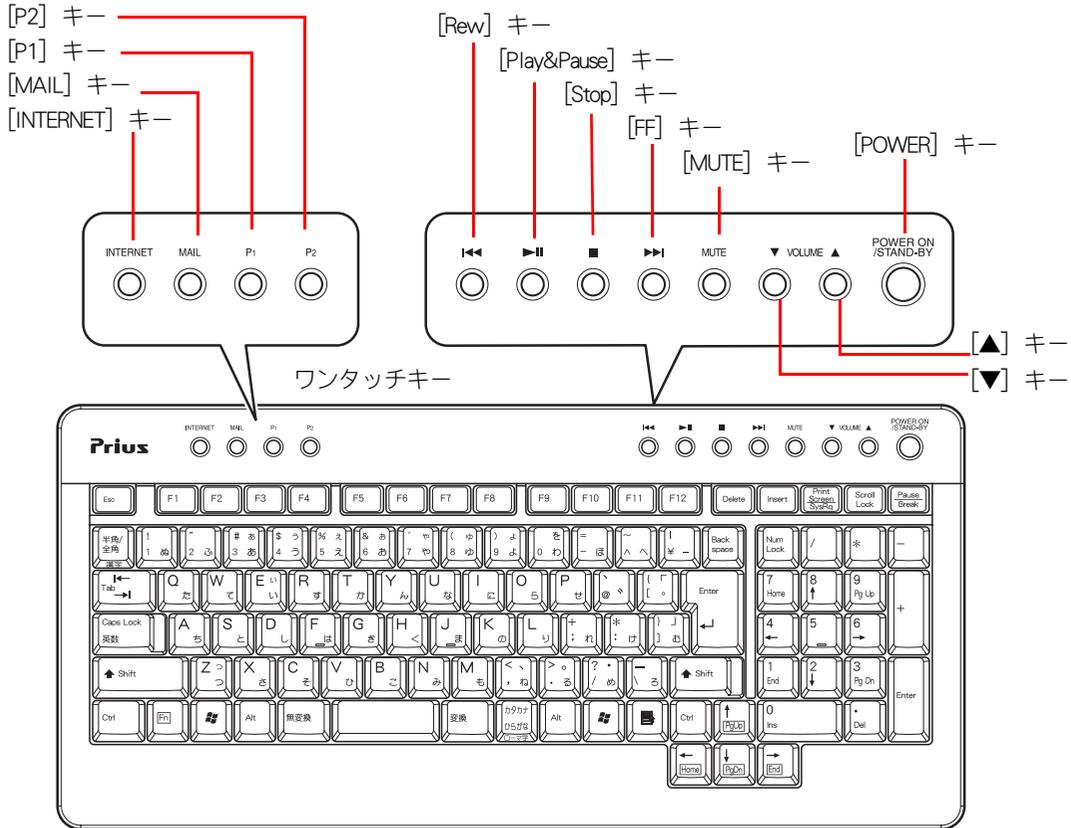
## LAN ランプ

ランプ	点灯状態	通信の状態
アクティビティランプ	オレンジ色に点滅	データ送受信中
	消灯	データ送受信を行っていない
リンクランプ	緑色点灯	リンクが確定されている
	消灯	リンクが確定していない



# キーボード

## ★キーボード



2

いろいろな使い方をするために

### [Num Lock] ランプ

点灯：[Num Lock] キーを押すと、切り替えられます。  
キーボードのテンキーの数字などが入力できます。  
消灯：[↑]、[↓]、[←]、[→]キーなどが入力できます。

### [Caps Lock] ランプ

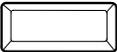
[Shift] キーを押しながら [Caps Lock] キーを押すと、切り替えられます。  
点灯：大文字のアルファベットが入力できます。  
消灯：小文字のアルファベットが入力できます。

### [Scroll Lock] ランプ

[Scroll Lock] キーを押すと切り替えられます。ランプが点灯しているときは、表示画面を移動できません。ランプが消灯すると移動できるようになります。ソフトウェアによって動作が異なる場合があります。

**※ヒント** ● [Num Lock] [Caps Lock] [Scroll Lock] のインジケータを画面に表示させることもできます。

**参照** → 画面表示について→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」

キー	使い方
テンキー	数字を入力するときに使います。
<b>F1</b> ~ <b>F12</b>	ファンクションキーといいます。アプリケーションソフトなどで、特定の機能を割り当てて使います。
   	カーソルキーといいます。カーソルをキーの矢印の方向に動かすときに使います。
<b>Ctrl</b> <b>Alt</b> <b>Fn</b> <b>Shift</b>	ほかのキーと組み合わせて使います。
文字キー	文字を入力するときに使います。
<b>Backspace</b>	カーソルの前（左）の文字を削除するときに使います。
<b>Delete</b>	カーソルの後ろ（右）の文字を削除するときに使います。
<b>Insert</b>	文字の入力方法を、挿入モードか上書きモードに切り替えます。
<b>Enter</b>	日本語入力の確定や改行などに使います。
<b>Esc</b>	操作を取り消したりするときに使います。
<b>Tab</b>	タブを挿入するときなどに使います。
<b>Caps Lock</b>	[Shift] キーを押しながらこのキーを押すと、標準では英大文字の入力モードになります。
<b>Num Lock</b>	テンキーで数字を入力するモードに切り替えます。
<b>Scroll Lock</b>	画面表示の制御に使います。
<b>変換（次候補）</b>	日本語入力で読みを漢字に変換します。
<b>半角/全角</b>	日本語入力をオン/オフするときに使います。
<b>無変換</b>	日本語入力の際に、無変換モードにします。
 (スペース)	1文字分のスペース（空白）を入力したり、読みを漢字に変換するときに使います。
<b>Home</b>	カーソルを行の先頭に移動するときに使います。

キー	使い方
	カーソルを行の末尾に移動するときに使います。
 	ページをスクロールするときに使います。

**※ヒント** ● 、、、 は、[Fn] キーを押しながら [←]、[→]、[↑]、[↓] キーを押します。

キー	使い方
	Windows キーといえます。スタートメニューを表示させるときに使います。
	プログラムキーといえます。マウスを右クリックしたときと同じ働きをします。
 (Stop)	DVD-ROM や CD-ROM などの再生を停止するときに使います。
 (Play&Pause)	DVD-ROM や CD-ROM などを再生したり、一時停止するときに使います。
 (Rew)	DVD-ROM や CD-ROM などの再生時に前のトラックに戻すときに使います。
 (FF)	DVD-ROM や CD-ROM などの再生時に次のトラックへ進めるときに使います。
 (VOLUME)	スピーカーの音量を下げるときに使います。
 (MUTE)	スピーカーの音を消したり元に戻すときに使います。
 (VOLUME)	スピーカーの音量を上げるときに使います。
 (INTERNET)	インターネットをワンタッチで立ち上げるときに使います。
 (MAIL)	メールソフトをワンタッチで立ち上げるときに使います。
 (POWER)	パソコンの電源を入れたり切ったりできます。
 ~ 	各キーに割り当てられているアプリケーションをワンタッチで立ち上げるときに使います。

**参照** → キーボードの使い方について→電子マニュアル『パソコン入門』1章の「キーボードを使う」

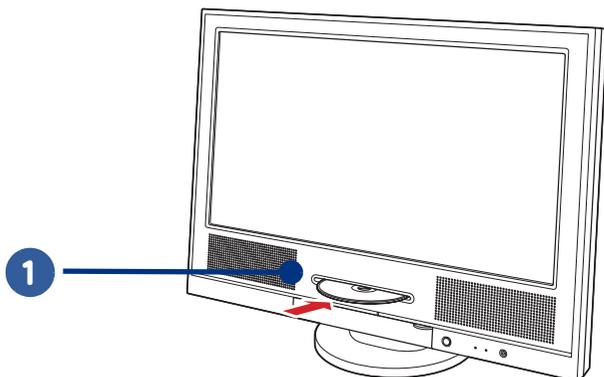
**参照** → ワンタッチキーの設定変更について→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」

### ※ヒント

- リモコンの[電源]ボタンでもパソコンの電源を入れたり切ったりできます。
- 電源コードを接続した直後は、キーボードの[POWER]キーまたは、リモコンの[電源]ボタンから立ち上げられません。一度Windowsを立ち上げ、Windowsを終了して電源を切ってからキーボードの[POWER]キーまたは、リモコンの[電源]ボタンから立ち上げることができます。

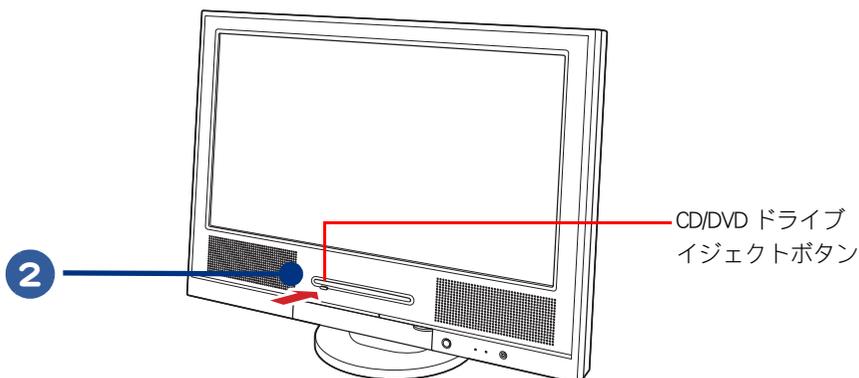
## CD/DVDドライブのディスクの入れ方 / 取り出し方

- 1 ディスクの文字などが書かれている面（表側）を上に向け、自動的に引き込まれるまでCD/DVDドライブに差し込む



- 2 取り出す時は、ディスクアクセスランプが点灯していないことを確認して、CD/DVDドライブイジェクトボタンを押す

少しディスクが出てくるので、手で引き出します。



### ▲重要

- 割れたり、変形したディスクは入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを出し入れするときは、無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブが壊れることがあります。
- ディスクアクセスランプが点灯や点滅中にディスクを出し入れすると、ディスクが壊れることがあります。
- 同梱の8cmディスクアダプターを使用する場合を除いて、12cmのCD、DVD以外は使用できません。ハート型、カード型などの特殊な形をしたディスクは故障の原因となりますので使用できません。

### ※ヒント

- ディスクを差し込むと、ディスクの動作を選択する画面が表示されることがあります。

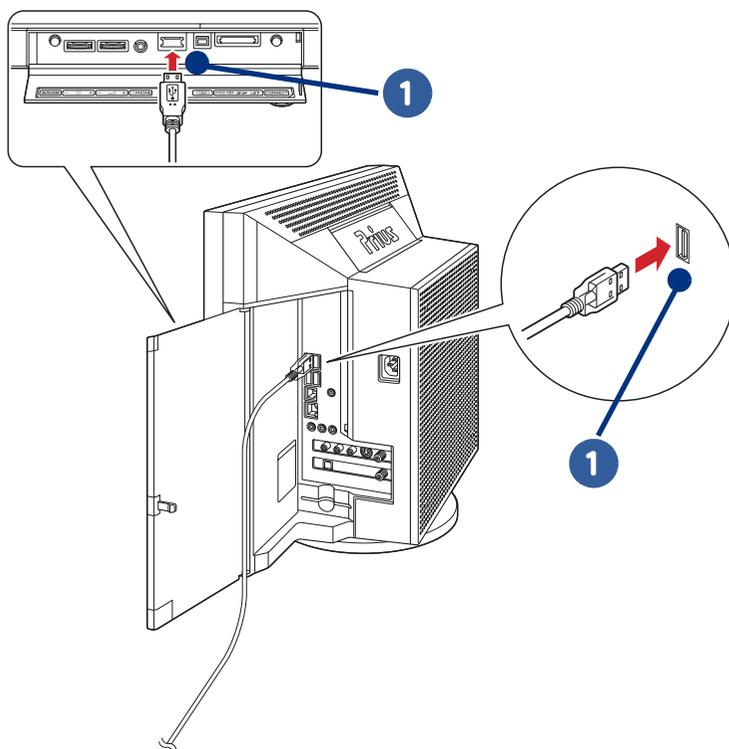
### 参照 →

使用できるディスクの種類 → 「ドライブの仕様」(P.66)

## FD の入れ方 / 取り出し方

ここでは、外付けの USB FDD（オプション）の接続方法について説明します。

### 1 パソコン前面または側面の USB コネクタのどれかに、FDD の USB ケーブルを接続する

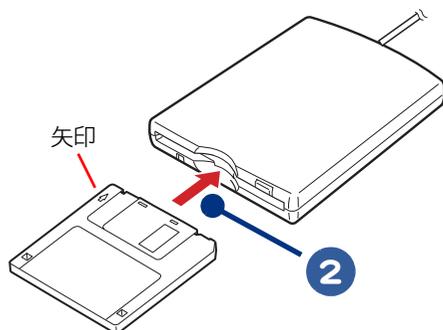


- 重要**
- コネクタには上下の向きがあります。コネクタの形を確認して取り付けてください。誤った向きで無理に押し込むと、コネクタ破損の原因となります。
  - FDD は上下を逆しないください。
  - FDD はパソコンからはなるべく離してご使用ください。
  - FDD を取り外すときは、FDD に FD が入っていないことを確認してください。FD が壊れることがあります。
  - USB コネクタは5つあります。どのコネクタに接続しても動作は同じです。

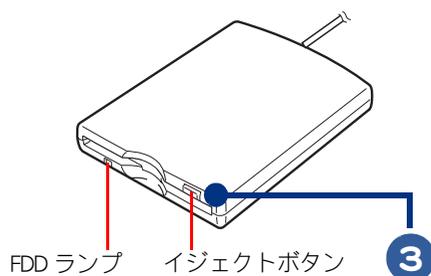
## 2

いろいろな使い方をするために

- 2** FDの表側(ラベルをはる面)を上に向け、矢印をFDDに向け、「カチッ」と音がするまで押し込む



- 3** FDを取り出す時は、FDDランプが点灯していないことを確認して、イジェクトボタンを押す



**重要**

- FDDランプの点灯、点滅中にFDを出し入れすると、FDDまたはFDが壊れることがあります。
- パソコンの電源を切るときは、FDを取り出してからにしてください。FDを入れたまま電源を切ると、FDが壊れることがあります。また、FDを入れたまま電源を入れると、パソコンが立ち上がらないことがあります。

**参照**

→ FDのフォーマット方法について→電子マニュアル『パソコン入門』3章の「フロッピーディスクをフォーマットしよう」

- 4** FDが出てくるので、FDDから取り出す

# 3

## 章

### 3章 再セットアップ

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻すまでの方法について説明します。パソコンの使用中にエラーが何回も発生したり、パソコンが立ち上がらないときは、再セットアップしてください。

>> ・再セットアップについて (P.44)

# 再セットアップについて

## 作業の流れ

パソコンをご購入時の状態に戻すまでの作業の流れは次のとおりです。

### 1 準備する

再セットアップする前に必要なファイルのバックアップをとります。インターネットやメールなどの設定も控えておきます。

**参照** → 詳細について→「1 準備する」(P.45)

### 2 一括インストールを行う

一部のアプリケーションを除いて、パソコンをご購入時の状態に戻します。

**参照** → 詳細について→「2 一括インストールを行う」(P.47)

### 3 アプリケーションをインストールする

一括インストールで元に戻らないアプリケーションをインストールします。

**参照** → 詳細について→「3 アプリケーションをインストールする」(P.54)

### 4 電子マニュアルをインストールする

一括インストールで元に戻らない電子マニュアルをインストールします。

**参照** → 詳細について→「4 電子マニュアルをインストールする」(P.56)

# 1 準備する

次の準備を行ってください。

## ■ 必要なファイルをバックアップする

ご購入時の状態に戻すと、それまでに作成したファイルや、追加したアプリケーションなどが削除されます。CD-R や CD-RW などのディスクに必要なファイルをコピーしてバックアップをとってください。

バックアップファイルを戻せるように元のフォルダー名など、保存先も控えてください。

- 参照** →
- ・コピーの方法について→電子マニュアル『パソコン入門』3章の「ファイルをコピーしよう」
  - ・データ保存場所について→電子マニュアル『使おう！アプリケーション』6章の「標準のユーザーデータ保存場所」
  - ・バックアップの方法について
    - 電子マニュアル『パソコン応用』6章の「データのバックアップ」
    - 電子マニュアル『使おう！アプリケーション』5章の「[安心楽々引越しバック] でデータを移動する」

## ■ インターネットの設定を控える

ご購入時の状態に戻したあと、加入しているプロバイダーに再び接続できるように、ユーザー名、パスワード、アカウント名など、インターネットの設定に必要な情報をメモしてください。通常は、契約時にプロバイダーから送付された書類にこれらの情報が記載されています。

## ■ USB などの周辺機器を取り外す

USB 機器などの周辺機器は、取り外してください。

## ■ メモリーカードを取り外す

メモリーカードは、取り外してください。

**※ ヒント** ●メモリーカードを取り付けているときは、取り付けたカードをパソコンから取り外してください。外さないとうまく動作しない場合があります。

**参照** → ●メモリーカードの取り外しについて→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「SDメモリーカード/メモリースティック /xD-ピクチャーカードを使う」

## ■ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定を変更している場合は、BIOS をご購入時の状態に戻してください。BIOS の設定をご購入時の状態に戻す（初期化する）ことで解決できる問題もあります。

ご購入時の状態から設定を変更している場合は、設定内容をあらかじめ控えておき、BIOS を初期化したあとに設定し直してください。

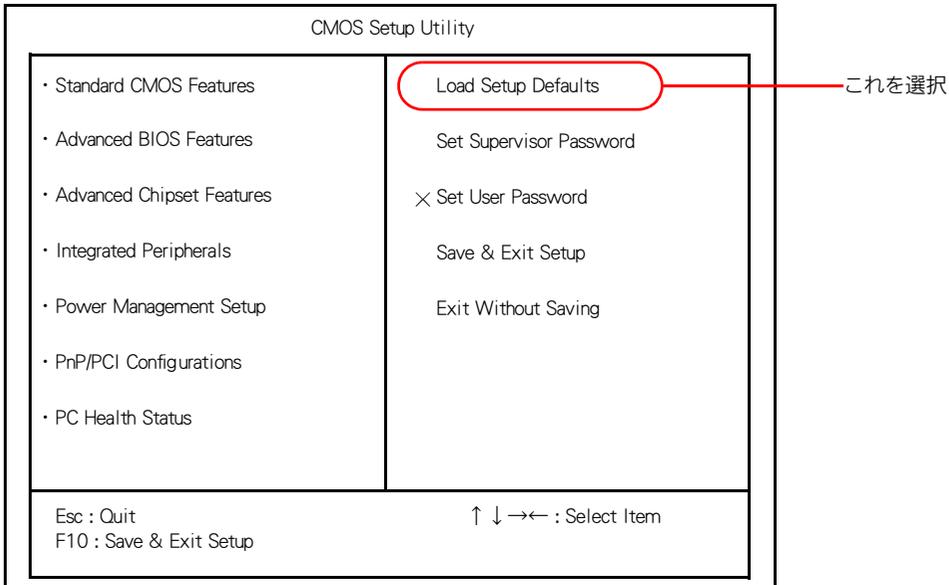
### 1 パソコンの電源を入れる。

パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press DEL to enter SETUP,F12 to enter BOOT MENU」と表示されたら、[Delete] キーを押す

BIOS メニューが立ち上がります。

**▲ 重要** ●電源を入れても、「HITACHI」ロゴや「Press DEL to enter SETUP,F12 to enter BOOT MENU」が表示されない場合があります。この場合、BIOS メニューを立ち上げるには、パソコンの電源を入れてから約 10 秒間 [Delete] キーを押し続けてください。しばらくすると、BIOS メニューが表示されます。

- 2 [↑]、[↓]キーで、[Load Setup Defaults]を選び、[Enter]キーを押して、「Load Setup Defaults (Y/N)?」と表示されたら[Y]キー、[Enter]キーを押す



**※ヒント** ●メモリーカードを取り付けているときは、取り付けたカードをパソコンから取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

**参照** → ●メモリーカードの取り外しについて→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「SDメモリーカード/メモリースティック/xD-ピクチャーカードを使う」

- 3 [F10] キーを押す

- 4 [SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)?] と表示されたら [Y] キーを押し、[Enter] キーを押す

設定した内容が保存され、BIOSメニューが終了しパソコンが立ち上げ直されます。

**※ヒント** ●BIOSメニューで「Save & Exit Setup」を選び、[Enter]キーを押しても同じ操作ができます。

## ■必要なディスクを用意する

パソコンに付属の、次のディスク類を使用します。

- ・『再セットアップディスク (Disc1)』
- ・『Microsoft® Office Personal Edition 2003』
- ・『Microsoft® Office Home Style\*』
- ・『アプリケーションディスク (Disc1)』
- ・『Prius Navistation ディスク』
- ・『活用百科』

## 2 一括インストールを行う

この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いてパソコンのHDDをご購入時に近い状態に戻します。さらに、ドライブCのサイズを変更したり、ドライブCのみご購入時の状態に戻すこともできます。

あらかじめ、パソコンに付属されている次のディスクを用意してください。

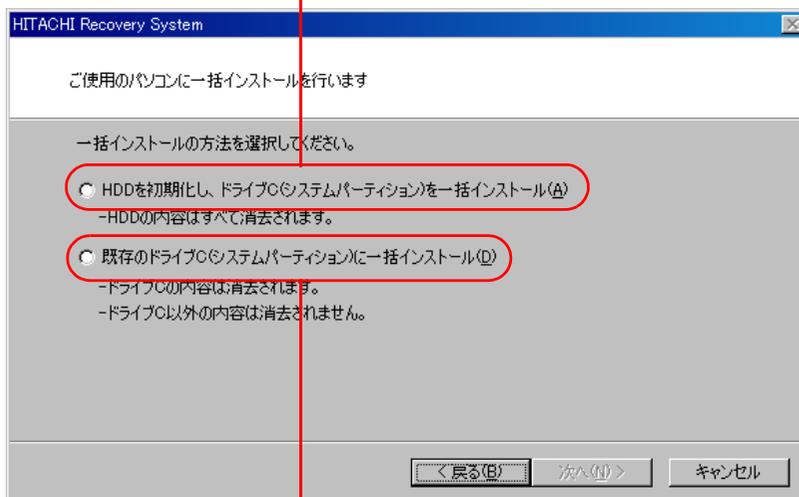
- ・『再セットアップディスク (Disc1)』

一括インストールには、次の方法があります。

選択肢	消去されるデータ	使用するディスク
(1) [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]	ハードディスクすべての内容	・『再セットアップディスク (Disc1)』
(2) [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]	現在のドライブCの内容	・『再セットアップディスク (Disc1)』

- ※ヒント** ● [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]を選択した場合、HDDの領域すべてを消去して、ご購入時の状態に戻します。[既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]を選択した場合、ドライブCのみご購入時の状態に戻します。ほかの領域は変更ありません。

(1) : [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]



(2) : [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]

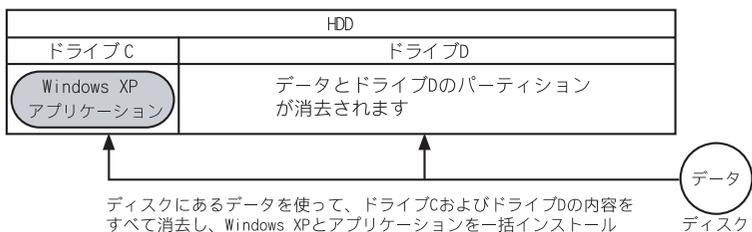
- 重要** ● 通常は、(2) : [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]を選択してください。(1) : [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]を選択した場合は、すべてのHDD領域が消去されます。パーティションの設定は、ある程度パソコンについての知識が必要です。初心者やHDDの知識をあまりお持ちでない方にはお勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。

## ■ 一括インストールのイメージ

次のイラストは、一括インストールの説明のためにイメージ化したものです。

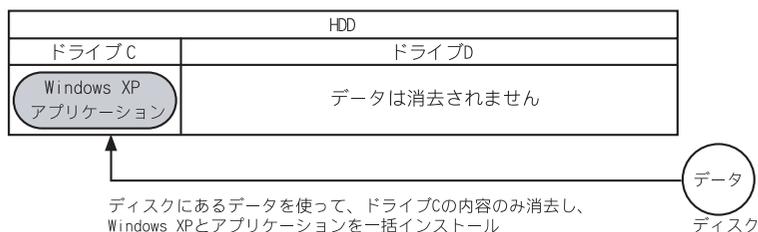
### ★メニュー画面で(1):[HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]を選択した場合

HDDすべての内容が消去され、Windows XPとアプリケーションのインストール



### ★メニュー画面で(2):[既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]を選択した場合

現在のドライブCの内容が消去され、Windows XPとアプリケーションのインストール



**参照** → パーティション設定について→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「パーティションの設定」

## ■ 一括インストール手順

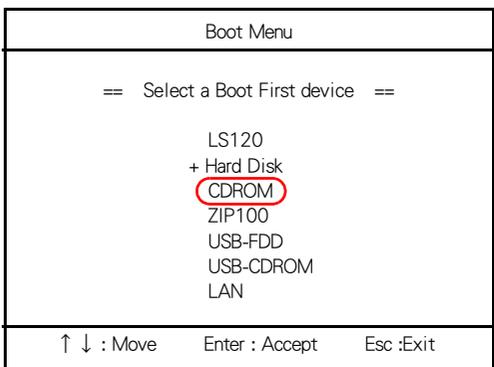
- 1 パソコンの電源を入れる。  
パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press DEL to enter SETUP,F12 to enter BOOT MENU」と表示されたら、[F12]キーを押す

[Boot Menu]画面が表示されます。

- 重要**
- [Boot Menu]画面が表示されずWindowsが立ち上がってしまった場合は、一度パソコンの電源を切り、パソコンの電源を入れ直してください。
  - 電源を入れても、「HITACHI」ロゴや「Press DEL to enter SETUP,F12 to enter BOOT MENU」が表示されない場合があります。この場合、[Boot Menu]画面を立ち上げるには、パソコンの電源を入れてから約10秒間[F12]キーを押し続けてください。しばらくすると、[Boot Menu]画面が表示されます。

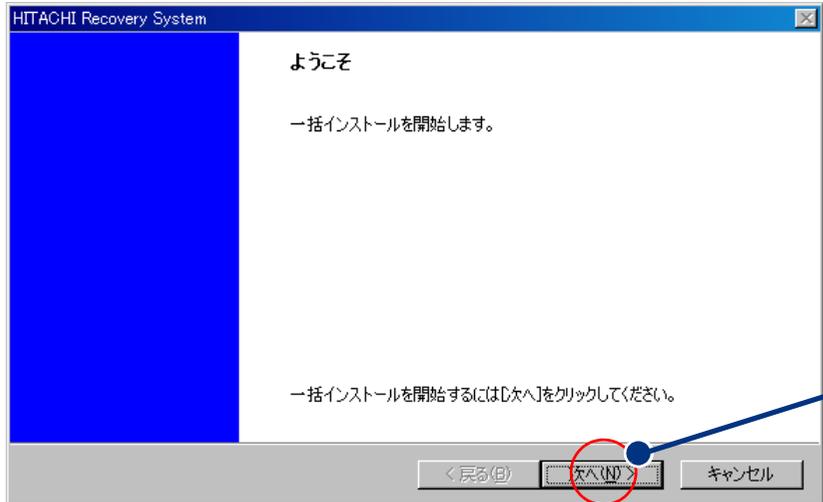


**2** CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク (Disc1)』を入れ、カーソルを [CDROM] に合わせて [Enter] キーを押す



[ ようこそ ] 画面が表示されます。

**3** [ 次へ ] ボタンをクリック



[ ご使用のパソコンに一括インストールを行います ] 画面が表示されます。

- ※ ヒント**
- 一括インストールを中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。インストール中止の [確認] 画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックしてください。自動でパソコンが立ち上げ直されます。

#### 4 セットアップ方法を選択し、[次へ]ボタンをクリック。

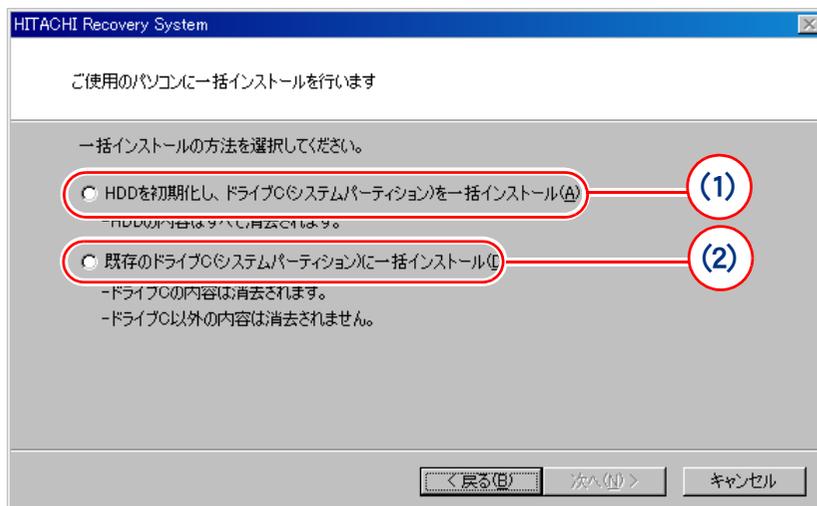
セットアップ方法は、次の2つから選択。

(1) : [HDDを初期化し、ドライブC(システムパーティション)を一括インストール]

→(1)を選んだ場合は、手順7に進む

(2) : [既存のドライブC(システムパーティション)に一括インストール]

→通常はこちらを選択。(2)を選んだ場合は、次の手順5に進む

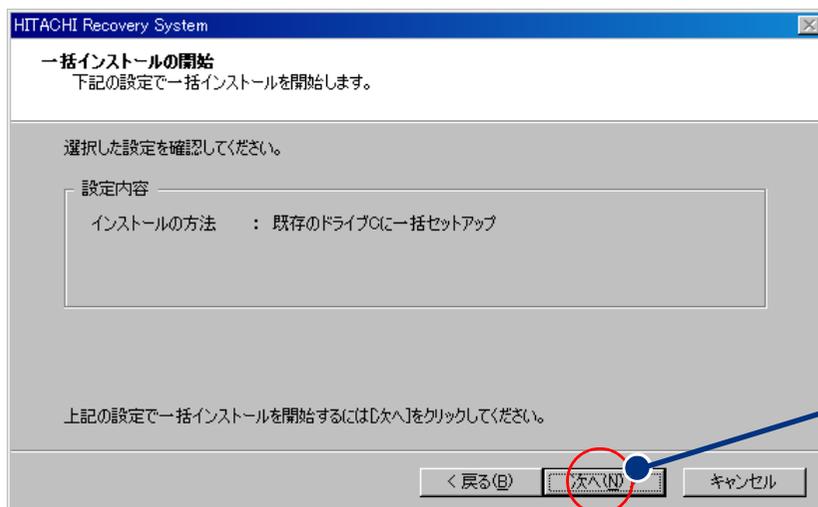


\* (1) を選ぶと、OS やアプリケーションなどをドライブCに回復する。ドライブC以外のパーティションも初期化される。

\* (2) を選ぶと、OS やアプリケーションをドライブCに回復する。ドライブC以外のパーティションは初期化されない。ドライブCのパーティションサイズは変更できない。

**重要** ●工場出荷時はドライブCに30GBのパーティションが設定されています。

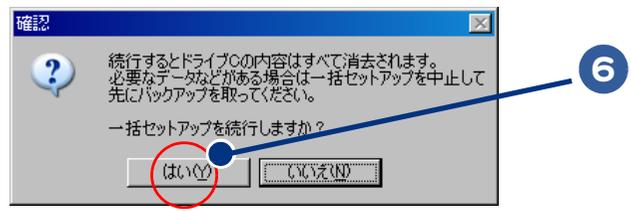
#### 5 [一括インストールの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリック。 一括インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック



[確認]画面が表示されます。

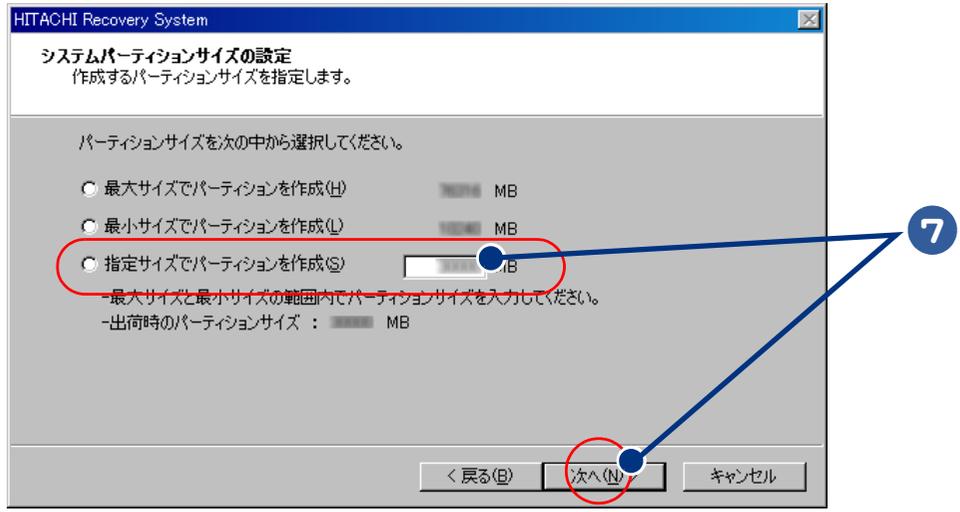


**6** [はい] ボタンをクリックして、手順 10 へ進む。  
[いいえ] ボタンをクリックすると、手順 5 へ戻る



- 重要**
- [はい] ボタンをクリックすると、ドライブCの内容はすべて消去されます。必要なデータなどがある場合は、インストールを中止して、先にバックアップを取ってください。
  - [はい] ボタンをクリックしたあとは、インストールを中止できません。

**7** 手順 4 で (1) を選んだ場合は、[システムパーティションサイズの設定] 画面が表示されるので、[指定サイズでパーティションを作成] を選択し、新規に作成するドライブCのパーティションサイズを入力して、[次へ] ボタンをクリック

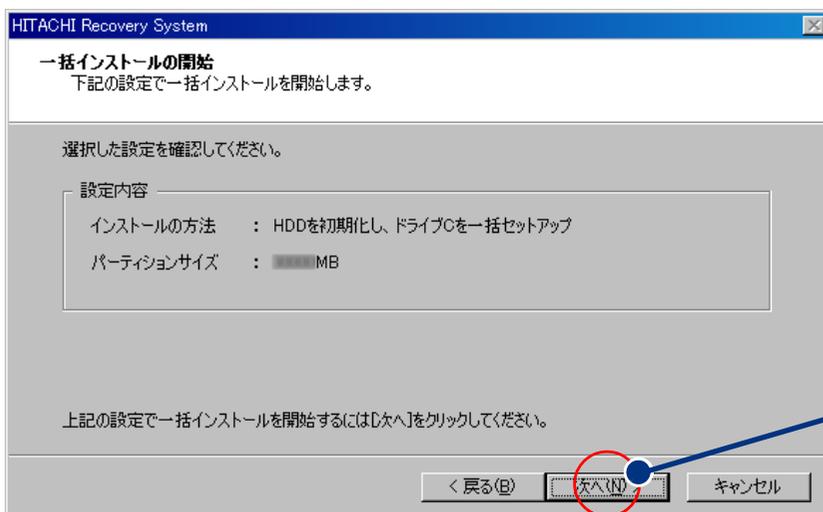


- \* [最大サイズでパーティションを作成] を選ぶと、ハードディスクの最大サイズでドライブCを作成します。
- \* [最小サイズでパーティションを作成] を選ぶと、ハードディスクの最小サイズでドライブCを作成します。

- 重要**
- 工場出荷時はドライブCに30GBのパーティションが設定されています。
  - [指定サイズでパーティションを作成] を選び、任意のパーティションサイズを入力する場合、最大サイズを超えない値でかつ、最小サイズを下回らない値を入力してください。

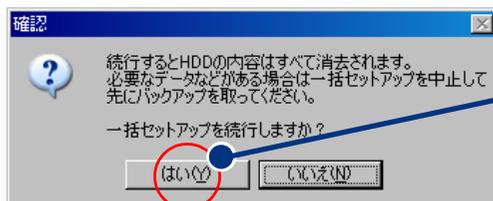
**3** 再セットアップ

- 8** [一括インストールの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリック。  
一括インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック



[確認]画面が表示されます。

- 9** [はい]ボタンをクリックして、手順10へ進む。  
[いいえ]ボタンをクリックすると、手順8へ戻る

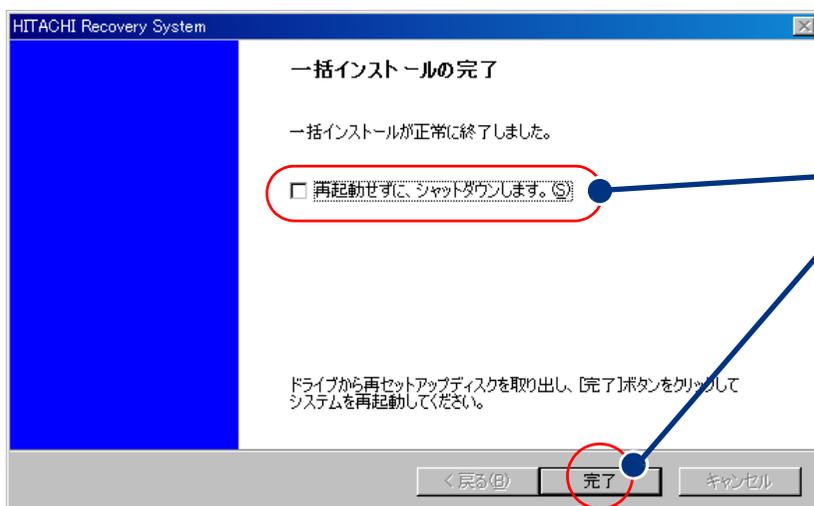


- 重要**
- [はい]ボタンをクリックすると、HDDの内容はすべて消去されます。必要なデータなどがある場合は、インストールを中止して、先にバックアップを取ってください。
  - [はい]ボタンをクリックしたあとは、インストールを中止できません。

- 10** OSの回復作業が終了し、[一括インストールの完了]画面が表示されたら、パソコンから『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出す



## 11 [再起動せずに、シャットダウンします。]にチェックが入っていないことを確認し、[完了]ボタンをクリック



パソコンが立ち上げ直されます。

## 12 以降、Windows のセットアップ手順に従って、Windows 環境をセットアップする

**参照** → セットアップ手順について → 「使用許諾契約に同意しよう」(P.22)

**重要** ● 次項の「3 アプリケーションをインストールする」に進むには、Windows のセットアップが必要です。

## 3 アプリケーションをインストールする

一括インストールで、元に戻らないアプリケーションを Windows のセットアップ後にインストールします。添付ソフトウェアの CD-ROM、『再セットアップディスク (Disc1)』、『アプリケーションディスク (Disc1)』、『活用百科』CD を使います。

**重要** ● アプリケーションをインストールするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）で行ってください。

### 添付ソフトウェアの CD-ROM からのインストール

詳細については、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。

#### ★ Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack2)

付属の『スタートガイド』をご参照ください。

インストール時にセットアップオプションを選べます。必要に応じて選んでください。

添付の CD-ROM からインストールしたあと、HDD イメージからのインストールが必要です。

**重要** ● 添付の Microsoft® Office Personal Edition 2003 をインストールし直した場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、立ち上げ回数が許諾回数を超えると、ファイルの作成更新などの機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、『スタートガイド』をご参照ください。

**参照** → HDD イメージからのインストール → 電子マニュアル『パソコン応用』4章の「HDD イメージからのインストール」

#### ★ Microsoft® Office Home Style<sup>+</sup> (with Service Pack2)

付属の『スタートガイド』をご参照ください。

ご利用になるには、Microsoft® Office Personal Edition 2003 がインストールされている必要があります。

添付の CD-ROM からインストールしたあと、HDD イメージからのインストールが必要です。

**参照** → HDD イメージからのインストール → 電子マニュアル『パソコン応用』4章の「HDD イメージからのインストール」

#### ★ はじめてソフトを立ち上げた時の対応

次のアプリケーションをインストールしたあと、はじめて立ち上げたときは、番号などの入力が必要です。

アプリケーション名	番号の名称と記載場所
Microsoft® Office Personal Edition 2003	CD キー（25 桁） CD-ROM ケースの裏側 ライセンス認証

### 『Prius Navistation ディスク』からのインストール

#### ★ Prius Navistation

**1** パソコンを立ち上げ、このパソコンに付属の『Prius Navistation ディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

**2** [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

**3** e:\instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリック

\* e は CD/DVD ドライブ名

[アプリケーション インストールメニュー] が表示されます。

## 4 [Prius Navistation4] にチェックを付ける

**重要** ● [スタート]メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

**ヒント** ● [アプリケーション インストールメニュー]の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにチェックが付いています。[全選択]ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付きます。[選択取り消し]ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択]ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー]立ち上げ時の状態に戻ります。

## 5 [インストール] ボタンをクリック

インストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。[キャンセル] ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



## 6 [OK] ボタンをクリック

## 7 以降、画面の指示に従って、インストールする

インストールが終了すると、「インストールを終了しました」とメッセージが表示されます。

## 8 [OK] ボタンをクリックし、ディスクを CD/DVD ドライブから取り出す

## 9 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

**重要** ● インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

## 『アプリケーションディスク (Disc1)』からのインストール

次のアプリケーションは、『アプリケーションディスク (Disc1)』からインストールします。詳細については、電子マニュアル『パソコン応用』をご参照ください。

★マカフィー®・ウイルススキャン (90 日間サポート)  
マカフィー®・パーソナルファイアウォールプラス (90 日間サポート)

★筆ぐるめ Ver.1.3 for HITACHI

★読みワザ

★ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE

★プリウスナビ ネットワークアドオンパック 2



**重要**

●一括インストールを行い、マカフィー・ウイルススキャンをインストールした場合、マカフィー・ウイルススキャンでファイルの登録が必要です。ファイルの登録を行わないと、パソコンが正常に動作しません。



**参照**

→『アプリケーションディスク (Disc1)』からのインストール→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「『アプリケーションディスク (Disc1)』からのインストール」  
登録方法について→紙マニュアル『プリウスナビを楽しもう!』1章の「いろいろな操作はこの画面で」、「McAfee Personal Firewall Plus に関するご注意」

## 『活用百科』CDからのインストール

次のアプリケーションは、『活用百科』CDからインストールします。詳細については、電子マニュアル『パソコン応用』をご参照ください。

★オンラインサインアップソフト



**参照**

→『活用百科』CDからのインストール→電子マニュアル『パソコン応用』4章の「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」、「オンラインサインアップソフト」

## 4 電子マニュアルをインストールする

一括インストールでは、電子マニュアルはインストールされません。  
電子マニュアルは、『活用百科』CDを使ってインストールします。

### 1 CD/DVD ドライブに『活用百科』CDを入れる

Windows の実行する動作選択画面が表示されたときは、[何もしない] をクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

### 2 『活用百科』CDの中の [E!emanu] アイコンをダブルクリック

[電子マニュアルインストール Ver XXX] 画面が表示されます。

### 3 [OK] ボタンをクリック

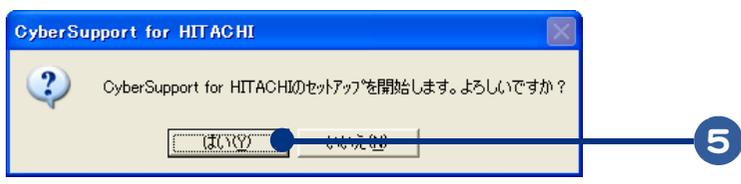
電子マニュアルがインストールされます。



**4** 「電子マニュアルのインストールが終了しました。引き続き CyberSupport をセットアップします。」とメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリック

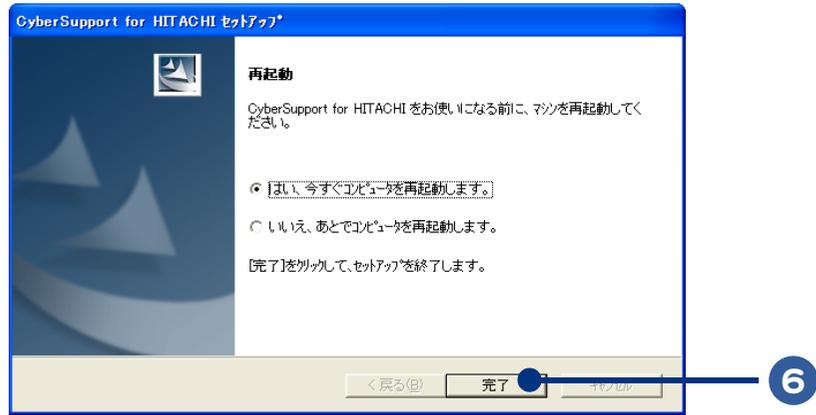


**5** 「CyberSupport for HITACHI のセットアップを開始します。よろしいですか?」とメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリック



CyberSupport がインストールされ、データベースが作成されます。

**6** 次のメッセージが表示されたら、[完了] ボタンをクリック



パソコンが立ち上げ直されます。

**\* ヒント** ● 「CyberSupport」についてのご質問は、「安心コールセンター」までお問い合わせください。株式会社ジャストシステムでは、お問い合わせを直接受け付けていません。



# 4

## 章

### 4章 技術情報

この章では、アプリケーション一覧とパソコンのシステム構成および仕様について説明します。

- >>・アプリケーション一覧 (P.60)
- >>・パソコン仕様一覧 (P.63)
- >>・ドライブの仕様 (P.66)
- >>・メモリーボードの仕様 (P.69)
- >>・有寿命部品一覧 (P.70)
- >>・オプション情報 (P.71)

# アプリケーション一覧

アプリケーションは、HDD イメージや『再セットアップディスク (Disc1)』、各ソフトウェアに付属の CD を使ってインストールします。インストールで特別な制限や設定が必要なアプリケーションは、次の表の「設定」に○印があります。内容は、電子マニュアル『パソコン応用』4章の「各アプリケーションの制限や設定」をご参照ください。

**重要** ● アプリケーションをインストールするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）でインストールしてください。

**※ ヒント** ● 表の「一括インストール」に○印があるアプリケーションは、『再セットアップディスク (Disc1)』の「一括インストール」でインストールできます。モデルによっては○印がない場合があります。  
● 表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にインストールされています。  
● 表の「インストールプログラム」は、各アプリケーションを個別にインストールする場合のプログラム収録ディスクを表します。

	設定	一括インストール	購入時	インストールプログラム
アプリケーション一覧	○：必要 －：不要	○：可能 ×：不可	○：有り ×：無し	HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップディスク (Disc1)、またはアプリケーションディスク CD：付属の CD
Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack2)	○	×	○	CD(Office Personal 2003)、HDD
Microsoft® Office Home Style+ (with Service Pack2)	○	×	○	CD(Office Home Style+)、HDD
DiXiM® Media Server	○	○	○	DVD
DiXiM® Media Client	○	×	×	(アプリケーションディスク)
WinDVD5 for HITACHI	○	○	○	
DVD Movie Writer 4 for HITACHI	○	○	○	
DVD-MovieAlbumSE 4	－	○	○	
DVD-RAM ドライバー	○	○	○	
RecordNow! 7.3	○	○	○	
Adobe Photoshop Album 2.0 Mini	－	○	○	
SD-Video Writer	－	○	○	
マウス吸着	－	○	○	
画面拡大	－	○	○	
読みワザ	－	×	○	
マカフィー®・ウイルススキャン (90 日間サポート)	－	×	○	
マカフィー®・パーソナルファイアウォールプラス (90 日間サポート)	－	×	○	
筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI	○	×	○	
らくらく家計簿ゆとりちゃん7	○	○	○	
タイピングドリーム アフロ犬	○	○	○	
ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE	○	×	○	

		設定	一括インストール	購入時	インストールプログラム
アプリケーション一覧		○：必要 －：不要	○：可能 ×：不可	○：有り ×：無し	HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップディスク (Disc1)、またはアプリケーションディスク CD：付属の CD
駅すばあと		○	○	○	DVD (アプリケーションディスク)
AI 囲碁 AI 麻雀 AI 将棋		○	○	○	
WYD		－	×	×	DVD (アプリケーションディスク)
Adobe Reader 7.0		－	○	○	CD (活用百科)
CyberSupport for HITACHI		－	×	○	
わくわくナビ		－	○	○	DVD (再セットアップディスク)
i-フィルター 4 (30 日間使用可能)		－	×	×	HDD
プリウスナビ ネットワーク アドオンパック 2		－	×	○	DVD (アプリケーションディスク)
プラグイン	Java(TM)2 Platform Standard Edition Runtime Environment Version 5.0	－	○	○	CD (活用百科)
	goo スティック	－	○	○	
	Macromedia® Shockwave®	－	○	○	
	Macromedia® Flash® Player	－	○	○	
オンライン サインアップ ソフト	AOL	○	×	○	CD (活用百科)
	BIGLOBE	－	×	○	
	OCN	－	×	○	
	ODN	－	×	○	
	So-net	○	×	○	
	Yahoo! BB	－	×	○	
Dragh Drop CD+DVD	Dragh Drop CD+DVD 5 for HITACHI	○	×	×	DVD (アプリケーションディスク)
	安心楽々引越しパック *1	○	×	×	
	ノークリックバックアップ Auto-Grabber *1	○	×	×	
Prius ツール	Prius で楽しもう!	－	○	○	DVD (再セットアップディスク)
	Prius サウンド REC	－	○	○	
	Prius 四字熟語	－	○	○	
	Prius 一文字	－	○	○	
	Prius 筆算	－	○	○	
	Prius デカ文字ツール	－	○	○	
	自動ログイン設定 プログラム	－	○	○	

アプリケーション一覧		設定	一括インストール	購入時	インストールプログラム
		○：必要 －：不要	○：可能 ×：不可	○：有り ×：無し	HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップディスク (Disc1)、またはアプリケーションディスク CD：付属の CD
Prius かんたんシリーズ	Prius かんたんランチャー	○	○	○	DVD (アプリケーションディスク)
	Prius かんたんファイルメール	○	○	○	
	Prius かんたん PC 設定	○	○	○	
	Prius かんたんファイルサーチ	○	○	○	
Prius Navistation4	Prius Navistation4	－	×	○	Prius Navistation ディスク
	メール着信設定 *2	－	×	○	

\* 1 : Drag'n Drop CD+DVD 5 for HITACHI をインストールすると、使用できるようになります。

\* 2 : Prius Navistation4 を選択すると同時にインストールされます。

## アプリケーションの制限や設定

ここでは電子マニュアル『パソコン応用』4章の「各アプリケーションの制限や設定」に記載されていない内容を説明します。

### らくらく家計簿ゆとりちゃん7

- ・ [らくらく家計簿ゆとりちゃん7セットアップ]画面が表示されたら、[セットアップ]ボタンをクリックしてください。
- ・ [ゆとりちゃん7]フォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

# パソコン仕様一覧

パソコンの仕様を紹介します。

製品名	Prius One	
形名	PCF-AW33S1R	PCF-AW35W1R
タイプ名	Type S	Type W
インストール OS 形式	Microsoft® Windows® XP Home Edition (With Service Pack2 セキュリティ強化機能搭載)	
CPU 名称	インテル® Celeron® M プロセッサ 380	インテル® Celeron® M プロセッサ 420
動作周波数 (重要 1)	1.60GHz	
フロントサイド・バス	400MHz	533MHz
チップセット	モバイルインテル® 910GML Express チップセット	モバイルインテル® 940GML Express チップセット
キャッシュ	64KB (命令用 32KB+ データ用 32KB) (CPU 内蔵)	
メモリー	1MB (CPU 内蔵)	
RAM 標準メモリー (ヒント 1)	512MB (DDR2 SDRAM PC2-4200)	512MB (DDR2 SDRAM SO-DIMM PC2-4200)
最大メモリー	2048MB	
ビデオメモリー	最大 128MB (メインメモリーと共有)	
グラフィック (ヒント 2)	800 × 600 ドット時 1024 × 768 ドット時 1280 × 1024 ドット時 1360 × 768 ドット時	65536 色 /1619 万色 65536 色 /1619 万色 65536 色 /1619 万色 -
ディスプレイ (ヒント 3)	17 型ピュアカラー液晶ディスプレイ	20 型ワイドスーパーピュアカラー液晶ディスプレイ
HDD (ヒント 4)	約 320GB	
ドライブ	DVD スーパーマルチドライブ (DVD ± R2 層書き込み対応)	
カレンダー時計 (重要 2)	年月日、時分秒を刻時、刻時誤差 ± 150 秒 / 月	
FAX データモデム (ヒント 5、6)	DATA 56Kbps、FAX 14.4Kbps	
テレビチューナー	ハードウェア MPEG2 エンコーダー付 (地上デジタル放送: UHF 13 ~ 62ch)	ハードウェア MPEG2 エンコーダー付 (地上デジタル放送: UHF 13 ~ 62ch)
ケーブル	ハードウェア MPEG2 リアルタイムエンコーダー付 (VHF 1 ~ 12ch、UHF 13 ~ 62ch、CATV C13 ~ C63ch)	ハードウェア MPEG2 リアルタイムエンコーダー付 (VHF 1 ~ 12ch、UHF 13 ~ 62ch、CATV C13 ~ C63ch)

製品名		Prius One	
形名		PCF-AW33S1R	PCF-AW35W1R
タイプ名		Type S	Type W
コネクター	ラインイン	1個 (ステレオミニジャック、入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 1Vrms)	
	ラインアウト	1個 (ステレオミニジャック、出力インピーダンス 20kΩ、出力レベル 1Vrms)	
	マイク (ヒント 7)	1個 (ステレオミニジャック、マイク入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 5mVrms)	
	ヘッドホン	1個 (ステレオミニジャック、対応ヘッドフォンインピーダンス 16kΩ-100Ω [推奨 32Ω])	
	光デジタル音声出力 (ヒント 8)	—	1個 (丸型/ラインアウトと兼用)
	IEEE1394 S400(4ピン)	1個 (4ピン)	
	USB2.0	5個 (パソコン前面 :1、パソコン側面 :4)	
	LAN	1個 (100BASE-TX/10BASE-T)	
	地上デジタルテレビチューナー	1個	
	地上アナログテレビチューナー	1個 (角型)	—
	地上デジタルテレビチューナー	1個	
	地上アナログテレビチューナー	1系統 (ピンジャック 右左)	
		S映像入力端子×1個、コンポジット端子×1個	
拡張スロット	スロット1 (重要3)	PCI規格 (ボードサイズ:幅 107mm、奥行 175mm以下)	
	スロット2 (重要4)	PCI規格 (ボードサイズ:幅 107mm、奥行 175mm以下)	
メモリーカードスロット (重要5)	1個 SDメモリーカードスロット メモリースティックスロット: (著作権保護機能なし、メモリースティック PRO 対応) xD-ピクチャーカードスロット		
B-CASカードスロット	1個		
電源	周波数	50/60Hz	
	入力電圧	AC100V	
消費電力	約 80W (最大:137W、 スタンバイ時:約 2.3W)	約 120W (最大:191W、 スタンバイ時:約 2.0W)	
省エネ法に基づく表示 (ヒント8)	区分	j	
	エネルギー消費効率 (目標年度 2007 年度)	0.0040	0.0039
外形寸法	394 (W) X 198 (D) X 439 (H) mm (突起部含まず)	506 (W) X 198 (D) X 421 (H) mm (突起部含まず)	
質量	約 12.0kg	約 12.3kg	

製品名	Prius One	
形名	PCF-AW33S1R	PCF-AW35W1R
タイプ名	Type S	Type W
周囲温度 動作時 (重要 6)	10 ~ 35 °C	
非動作時	- 10 ~ 40 °C	
保存および輸送時	- 10 ~ 60 °C	
周囲湿度 動作時 (重要 6)	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)	
非動作時	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)	
保存および輸送時	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)	
最大湿球温度	25 °C	

### ※ヒント

- [コントロールパネル] - [システム] アイコン - [システムのプロパティ] でメモリー容量を確認できます。この容量は、実装容量からビデオメモリー容量分 (8 ~ 128MB 間で使用状況に合わせて変更) を引いた値です。  
**参照** → メモリーボードについて → 電子マニュアル [パソコン応用] 3章の「メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた」
- Windows XP での表記は、中 (16 ビット) は 65536 色、最高 (32 ビット) は AW33S1R で 1619 万色、AW35W1R で 1677 万色です。
- 1619 万色表示は、26 万色表示パネルをディザリング処理で実現。
- 電源を切ると、HDD のヘッドは自動で待機領域に移動します。  
HDD の容量は、1GB=10<sup>9</sup> バイトで計算した場合の数値を表しています。
- 最高速度は 56Kbps ですが、実回線では回線状態により 56Kbps では接続できないことがあります。PBX 内線を經由して接続する場合は、直接外線に接続する場合と比べて通信速度が下がります。
- 電気通信事業法による端末機器技術基準適合認定を受けた端末機器です。  
認定番号：A03-0238JP
- モノラルとして機能します。
- エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

### ▲重要

- [コントロールパネル] - [システム] アイコン - [システムのプロパティ]、システム情報、アプリケーションなどによっては、正しく表示されないことがあります。CPU 情報は BIOS メニューの [Standard CMOS Features] でご確認ください。
- 時計にはメインボードのリチウム電池を使っています。取り外さないでください。寿命で交換する場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。刻時誤差は、メインボードのリアルタイムクロックの数値です。Windows の時間とずれることがあります。
- 地上アナログテレビチューナーボードを取り付け済みです。取り付け済みのテレビチューナーボードを取り外したり、取り替えることはできません。
- 地上デジタルテレビチューナーボードを取り付け済みです。取り付け済みのテレビチューナーボードを取り外したり、取り替えることはできません。
- マルチメディアカード (MMC) は使用できません。  
SD メモリーカードとメモリースティック、xD-ピクチャーカードの同時使用はできません。  
本機器では、2GB までのメモリースティックで動作確認を行っています。ただし、すべてのメモリースティックでの動作を保障するものではありません。  
メモリースティックのマジックゲートには対応していません。マジックゲートは、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。  
メモリースティック Duo およびメモリースティック PRO デュオ、miniSD を使うには市販のアダプターが必要です。  
本機器では、16MB ~ 1GB の xD-ピクチャーカードで動作確認を行っています。  
xD-ピクチャーカードは、Type M まで動作します。
- 長時間の非動作時から動作させる場合は、周囲の温度や湿度になじむまで時間を置いてから起動してください。

### ※ヒント

- K (大文字) と k (小文字) の記載の単位は、K (大文字) : 1024、k (小文字) : 1000 で換算しています。

# ドライブの仕様

## DVD スーパーマルチドライブ (DVD ± R 2 層書き込み対応) の仕様

項目	仕様
読み込み速度*	CD-ROM、CD-R/CD-RW：最大 24 倍速 DVD-ROM：最大 8 倍速、DVD-R：最大 6 倍速 DVD-RW：最大 6 倍速、DVD-RAM：最大 5 倍速、 DVD+R：最大 6 倍速、DVD+RW：最大 6 倍速、 DVD+R DL：最大 6 倍速、DVD-R DL：最大 6 倍速
書き込み速度	CD-R：最大 24 倍速、CD-RW：最大 16 倍速 DVD-R：最大 8 倍速、DVD-RW：最大 4 倍速 DVD-RAM：最大 5 倍速、DVD+R：最大 8 倍速 DVD+RW：最大 4 倍速、DVD+R DL：最大 2.4 倍速 DVD-R DL：最大 2 倍速
インターフェース	ATAPI
データ転送速度 (I/F 上)	最大 66MB/sec
平均アクセスタイム	DVD-ROM：180ms DVD-RAM(Ver2.2)：165ms CD-ROM：150ms
バッファメモリー	2MB
ローディング方式	電動イジェクト
読み込み可能ディスク	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM DVD+R、DVD+RW、DVD+R DL、DVD-R DL
書き込み可能ディスク	CD-R/RW、DVD-R(4.7GB)、DVD-RW(Ver.1.2)、DVD-RAM(4.7GB/9.4GB)、 DVD+R(4.7GB)、DVD+RW(4.7GB)、DVD+R DL(2.4 倍速)、DVD-R DL(4 倍速)
対応フォーマット	CD-DA(オーディオ CD)、CD-ROM(mode1、mode2)、CD-ROM XA (mode2 の Form1、Form2)、CD-R/RW、Photo CD(シングル/マルチセッション)、 Video CD、CD Extra(CD+)、CD-TEXT、CD-I、DVD-ROM、 DVD-R(3.95GB/4.7GB)、DVD-VIDEO、DVD-RW(4.7GB,Ver1.2)、 DVD-RAM(2.6GB/4.7GB/9.4GB、Type1 は除く ) DVD+R(4.7GB)、DVD+RW(4.7GB)、DVD+R DL(8.5GB)、DVD-R DL(8.5GB)

項目	仕様
推奨ディスク	CD-R：TDK製、太陽誘電製、三菱化学メディア製、日立マクセル製、 CD-RW：ソニー製、リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 Hi Speed CD-RW：三菱化学メディア製、日立マクセル製 Ultra Speed CD-RW：三菱化学メディア製 DVD-R(4倍速)：三菱化学メディア製、パイオニア製、日本ビクター製、日立マクセル製 DVD-R(8倍速)：太陽誘電製、ソニー製、三菱化学メディア製、日本ビクター製、日立マクセル製 DVD-R(16倍速)：ソニー製、三菱化学メディア製、TDK製、日立マクセル製 DVD-RW(2倍速)：日本ビクター製、TDK製、日立マクセル製 DVD-RW(4倍速)：日本ビクター製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD-RW(6倍速)：日本ビクター製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD-R DL(4倍速)：三菱化学メディア製 DVD-RAM(3倍速)：松下電器産業製、日立マクセル製 DVD-RAM(5倍速)：日立マクセル製 DVD+R(4倍速)：TDK製、日立マクセル製 DVD+R(8倍速)：太陽誘電製、ソニー製、日立マクセル製 DVD+R(16倍速)：三菱化学メディア製、TDK製、日立マクセル製 DVD+R DL(2.4倍速)：リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD+RW(2.4倍速)：ソニー製、リコー製、三菱化学メディア製、富士フイルム製、日立マクセル製 DVD+RW(4倍速)：リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD+RW(8倍速)：三菱化学メディア製

\*： ディスクの回転率が大きい場合や高速での読み込みが困難な場合は、自動で回転率を落とします。

#### 重要

- 推奨ディスク以外を使用される場合、正しく動作しないことがあります。
- 使用するディスクによって、専用ソフトが必要です。
- ディスクをドライブに入れた直後に“Not Ready”などの準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、ディスクアクセスランプが消灯するまでお待ちください。
- カートリッジ式のディスクは、カートリッジから取り外した状態でのみ使用可能です。
- CD/DVD ディスクは、追加で書き込みをすると、書き込んだドライブ以外では正常に読み込めない場合があります。
- ドライブには、次のものを絶対に入れないでください。ディスクを取り出せなくなったり、ドライブやディスクが破損の原因になります。
  - ・ 名刺型ディスクやハート型などの異形ディスク
  - ・ 8 cm 小径ディスク（付属の 8 cm ディスクアダプター使用時を除く）
  - ・ ”DVD Slim disc” などの規格外ディスク
  - ・ コイン、クリップなどの金属物や液体など、ディスク以外の異物
- このパソコンで作成した CD/DVD ディスクは、他のパソコンやプレーヤーでは読み込めない場合があります。
- 本ドライブで、DVD ± R DL の媒体へデータを記録し、DVD ± R DL 未対応のドライブで読み込むと、DVD-ROM として認識されます。
- DVD+R DL の媒体へデータを追記し、DVD+R DL 未対応のドライブで読み込むと、追記したデータが読み込めないことがあります。
- DVD-R DL は、追記書き込みはできません。

#### ヒント

- DVD+R DL、DVD-R DL とは、片面 2 層 (8.5GB) のディスクです。
- このパソコンでは、データ転送速度 (1/f) 最大 33MB/Sec になります。

本ドライブで 8cm ディスクをアダプターに装着して再生する場合は、次の仕様になります

項目	仕様
読み込み速度*1	CD-ROM/R/RW：最大 2 倍速 DVD-ROM/R：最大 2 倍速 DVD-RW：最大 2 倍速 DVD-RAM：最大 2 倍速
推奨ディスク	CD-R：ソニー製、太陽誘電製、TDK 製、日立マクセル製 CD-RW：三菱化学製、リコー製、TDK 製、日立マクセル製 DVD-R(2 倍速)：日立マクセル製 DVD-RW(2 倍速)：日立マクセル製 DVD-RAM(2 倍速)：日立マクセル製

\* 1： ディスクの回転率が大きい場合や高速での読み込みが困難な場合は、自動で回転率を落とします。



**重要**

- 8cm ディスクアダプターは再生専用です。書き込みに使用することはできません。
- 推奨ディスク以外のディスクを使用すると、エラーが発生することがあります。

# メモリーボードの仕様

## ■ 17 型モデル

項 目	仕 様
容量	256MB
	パリティなし
外形寸法	約 133 mm (W)X32 mm (D)
DRAM タイプ	DDR2 SDRAM PC2-4200
形状	240 ピン DIMM
バッファの有無	バッファなし
メモリークロック	533MHz (PC4200、CL=3)
電圧値	1.8V

## ■ 20 型モデル

項 目	仕 様
容量	256MB
	パリティなし
外形寸法	約 67 mm (W)X32 mm (D)
DRAM タイプ	DDR2 SDRAM PC2-4200
形状	200 ピン SO-DIMM
バッファの有無	バッファなし
メモリークロック	533MHz (PC4200、CL=3)
電圧値	1.8V

**※ ヒント** ● メモリーボードの使用環境はパソコンと同じです。

# 有寿命部品一覧

パソコンの部品は、長期間使用しているうちに劣化、磨耗します。

次の部品は、一定周期で交換の必要があります。

ここで記載の寿命とは設計構造上の想定寿命であり、寿命を保証するものではありません。想定寿命を満たさない場合でも、無償修理期間を過ぎている場合の部品代は有償です。

購入や交換については、お買い求め先にご連絡ください。

なお、交換した部品は、パソコン購入時の部品と、仕様が異なる場合があります。

品名	備考
キーボード	* 1
マウス	
ハードディスクユニット	
リモコン	
テレビチューナーボード	* 1、2
メインボード	* 1、2
電源ユニット	
液晶ディスプレイ	* 1、5
DVD スーパーマルチドライブ	* 3
リチウム電池 (パソコン本体用)	* 4

\* 1 : 事務室で 1 日に 8 時間、1 カ月で 25 日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は約 5 年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

\* 2 : 使用しているアルミ電解コンデンサーは寿命のある部品です。

\* 3 : 事務室で 1 日に 1 時間 20 分、1 ヶ月で 25 日間、データの読み書きを想定した場合、寿命は約 5 年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

\* 4 : 事務室で 1 日に 8 時間、1 カ月で 25 日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は約 5 年です。リチウム電池は、パソコンが無通電状態の時に消費されます。使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は長くなります。

\* 5 : 明るさが工場出荷時の約 1/2 に低下したときを寿命とします。

# オプション情報

パソコンに増設または接続できるオプションを次に示します。

分類	品名	形名	仕様
ファイル装置	フロッピーディスク装置	PCT-UF2231A	USB インタフェース、3.5 型、3 モード*

\* : Windows XP では 2 モードでの利用となります。

 **重要** ● この一覧以外のオプションは動作保証していません。

# さくいん

## B

B-CAS カードスロット 35  
BIOS 45

## C

CD/DVD ドライブ 33  
CD/DVD ドライブイジェクトボタン 33  
[CONNECT] ボタン 33

## D

DVD スーパーマルチドライブの仕様 66

## F

FAX モデムコネクタ 35  
[FF] キー 37  
FG 端子 35

## I

[INTERNET] キー 37

## L

LAN コネクタ 35

## M

[MAIL] キー 37  
[MUTE] キー 37

## P

[P1] キー 37  
[P2] キー 37  
[Play&Pause] キー 37  
[POWER] キー 37

## R

[Rew] キー 37

## S

[Stop] キー 37  
S 映像入力端子 (4 ピン) 35

## U

USB コネクタ 35

## W

Windows 18  
Windows キー 39

## あ

アース線 8, 9  
アプリケーション一覧 60  
アプリケーションのインストール 54

## い

一括インストール 47  
インストール 54  
インターネット 30

## う

上書きモード 38

## お

オプション情報 71

## か

かな入力 23  
漢字変換 23

## き

キーボード 13  
キャスロックランプ 37

## こ

コンセント 11  
コンポジット映像入力端子 35

## さ

再セットアップ 44

## し

使用許諾契約 22

## す

スクロールロックランプ 37

## せ

接続 16

## そ

挿入モード 38

## た

タイマー設定ランプ 33, 34  
タブ 38

## ち

地上アナログテレビアンテナ入力端子 35  
地上アナログテレビチューナーボード 35  
地上デジタルテレビアンテナ入力端子 35  
地上デジタルテレビチューナーボード 35

## て

ディスクアクセスランプ 33, 34  
ディスクの入れ方 / 取り出し方 40  
テレビ 31  
テレビアンテナ入力端子 35  
電源コード 8, 9  
電源ランプ 33, 34  
電源を入れる 18  
電源を切る 26  
電子マニュアル 1, 56

## な

ナムロックランプ 37

## は

パソコン 8, 9  
パソコン仕様一覧 60, 63  
バックアップ 45

## ひ

光デジタル音声出力端子 35  
ビデオ音声入力端子 (左) 35  
ビデオ音声入力端子 (右) 35

## ふ

ファンクションキー 38  
プログラムキー 39

## へ

ページをスクロールする 39  
ヘッドホンアウト端子 33

## ほ

保証書 4, 9

## ま

マイクイン端子 35  
マウス 13  
マウスポインター 22

## め

メモリースロット 33  
メモリーボードの仕様 69

## も

モジュラーケーブル 30

モジュラーコンセント 30  
モデム 30

## ゆ

有寿命部品一覧 70

## ら

ラインアウト端子 35  
ラインイン端子 35  
ラスターパネル 12

## り

リモコン 8, 9, 14

## ろ

ローマ字入力 23

## わ

ワイヤレスキーボード 8, 9  
ワイヤレスマウス 8, 9



## 他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ メモリースティック、マジックゲートは、ソニー株式会社の商標です。
- ・ xD- ピクチャーカードは、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

# 準備しよう！ Prius

初 版 2006 年 4 月

無断転載を禁止します。

---

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

---

## 株式会社 日立製作所 ユビキタスシステム事業部

〒 244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地  
お問い合わせ先：安心コールセンター 0120-885-596

---

© Hitachi,Ltd.2006.All rights reserved.



このマニュアルは、再生紙を使用しています。

AWRR710P0-1